

# Gaiho PDF Server 5

ヘルプ

2018 七月

# 目次

目次	
第一章 はじめいに	2
ダウンロードとインストール	2
インストールの種類	2
製品のアクティブ化	4
オンラインでのアクティブ化	4
オフラインでのアクティブ化	7
非アクティブ化	11
アップデート、アップグレードとメンテナンス	16
第二章 Gaaiho PDF Server	17
PDF Server Console	18
サーバーコンソール概要	18
サーバーを起動	20
コンソールの設定	21
ジョブと接続状態の表示	22
PDF Server Client	24
クライアントの起動と実行	24
クライアントの変換設定	27
第三章 ウォッチフォルダー	43
ウォッチフォルダーの概要	44
ウォッチフォルダーの管理	45
ウォッチフォルダーの追加と構成	45
ウォッチフォルダーパネル	46
ウォッチフォルダーの設定	48
第四章 ファイルをPDF に変換	49
PDF Server Client でのPDF の作成	50
ファイルをPDF ドキュメントに変換	50
変換状態と結果を表示	54
電子メールの添付ファイルとして結果を送信	56
ウォッチフォルダーでのPDF の作成	57
ウォッチフォルダーを追加	57
ウォッチフォルダーを実行	58
Gaaiho PDF プリンターでのPDF の作成	60
ドキュメントをPDF に印刷	60
プリンタープロパティの設定	60
付録	65
お問い合わせ	66

# 第一章 はじめに

## [ダウンロードとインストール](#)

### [製品のアクティブ化](#)

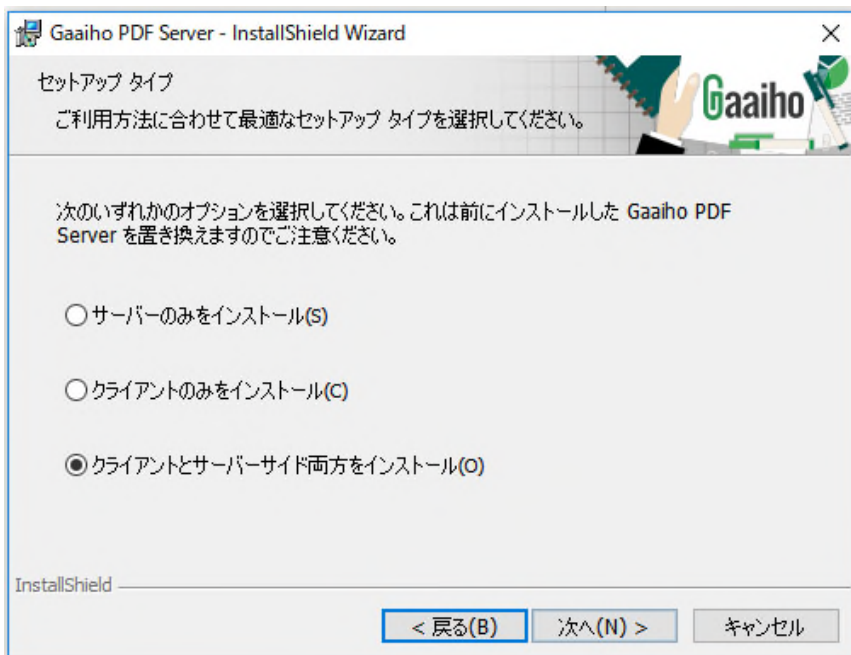
### [アップデート、アップグレードとメンテナンス](#)

## ダウンロードとインストール

[Gaiiho PDF 公式サイト](#)から Gaiiho PDF Server をダウンロードできます。ダウンロードが完了したら、インストーラーをダブルクリックしてインストールを開始します。ご利用するシステムに共存できない他の製品が検出されると、インストーラーが中止されます。再試行する前にソフトウェアをアンインストールしてください。

他にソフトウェアのダウンロードやインストールに問題がある場合は、Gaiiho [オンライン サポート](#) Web サイトを参照してください。

## インストールの種類



**I. サーバーのみをインストール** このオプションは、**PDF Server Console** と **Watch Folder** のみをインストールします。PDF Server Console は、ユーザーからの接続を制御と監視します。Watch Folder は、PDFCMD の Create API を基づいて開発したアプリケーションで、ファイル

を変換する方法の 1 つです。PDF Server Console と Watch Folder は、サーバーにインストールする必要があります。

**II. クライアントのみをインストール** このオプションは、**PDF Server Client** のみをインストールします。各クライアント コンピューターは PDF Server Client を使用し、サーバーに接続してファイルを PDF に変換することができます。

**III. クライアントとサーバーサイドをインストール** このオプションは、**PDF Server Console**、**PDF Server Client** および **Watch Folder** をインストールします。



## 製品のアクティブ化

製品をインストール後 30 日以内にソフトウェアをアクティブ化する必要があります。ソフトウェアをアクティブ化しない場合、試用期間が終了すると、ソフトウェアのほとんどの機能が使用できなくなります。

アクティブ化プロセスは、ユーザーの個人情報を収集、開示または転送しません。製品をアクティブ化するには、ライセンスコードを入力する必要があります。ライセンスコードは、ご購入の際受信した購入確認メール、または製品パッケージに記載されています。サーバー上でのみソフトウェアをアクティブ化する必要があります。クライアントは、製品をアクティブ化する必要がありません。

## オンラインでのアクティブ化

コンピューターがインターネットネットに接続でき場合は、オンラインですぐに製品をアクティブ化できます。

1. [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [ライセンス情報] を選択するか、次のいずれかの操作を行います。
  - **Gaiiho PDF Server** のユーザーは、PDF Server Console または Watch Folder アプリケーションを実行して [ライセンスについて] をクリックします。
  - **Gaiiho PDF Suite** のユーザーは、Gaiiho Doc を実行して、[ヘルプ] > [ライセンス情報] をクリックします。または、Gaiiho PDF Converter を実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
  - **Gaiiho PDF Converter** ユーザーは、アプリケーションを実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。

1. [Gaiiho ライセンス情報] ウィンドウで、[アクティブ化] をクリックします。



2. アクティブ化する方法を選択します。

- Gaiiho PDF Server のユーザーは [オンライン] を選択します。



- Gaiiho PDF Suite と Gaiiho PDF Converter の永久ライセンス ユーザーは、[ライセンスコード] を選択します。サブスクリプションライセンスのユーザーは [アカウント] を選択して、[オンライン] を選択します。

**重要:** サブスクリプションライセンスの場合は、Gaiiho アカウントとパスワードを使用して製品をオンラインで アクティブ化します。

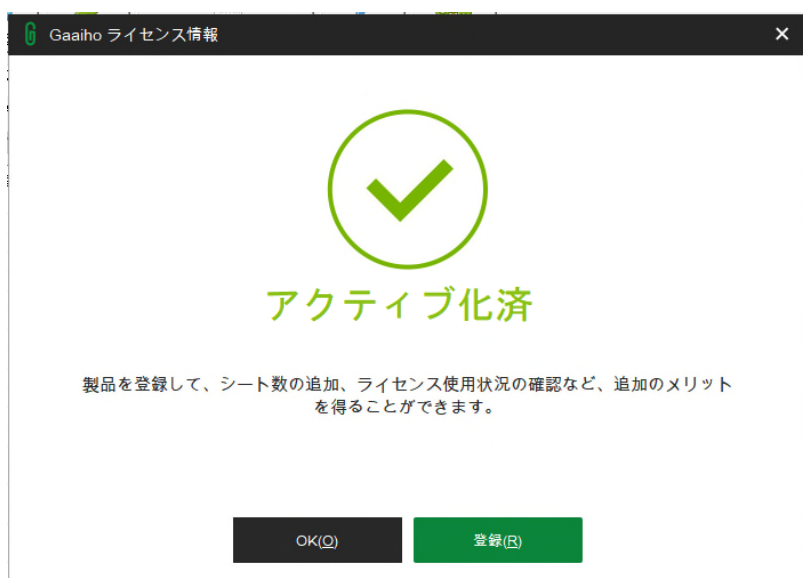
3. ライセンスコードを入力して [アクティブ化] をクリックします。ライセンスコードは、製品の購入確認メールに記載されています。

Gaiho ライセンスコードの書式は次のようになります。

**AA11-BB22-CC33-DD44-EE55-FF66-GG77-HH88**





4. オンライン アクティブ化が完了しました。



## オフラインでのアクティブ化

コンピューターがインターネットに接続されていない場合は、アクティブ化データをエクスポートして、インターネットに接続できる別のコンピューターでアクティブ化サーバーにアップロードする必要があります。

1. [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [ライセンス情報] を選択するか、次のいずれかの操作を行います。
  - **Gaiiho PDF Server** のユーザーは、PDF Server Console または Watch Folder を実行して [ライセンスについて] をクリックします。
  - **Gaiiho PDF Suite** のユーザーは、Gaiiho Doc を実行して、[ヘルプ] > [ライセンス情報] をクリックします。または、Gaiiho PDF Converter を実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
  - **Gaiiho PDF Converter** ユーザーは、アプリケーションを実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
2. [Gaiiho ライセンス情報] ウィンドウで、[アクティブ化] をクリックします。



3. アクティブ化する方法を選択します。

- **Gaiho PDF Server** のユーザーは、[オフライン] を選択します。



- **Gaiho PDF Suite** および **Gaiho PDF Converter** のユーザーは、[ライセンスコード] を選択してから、[オフライン] を選択します。



4. ライセンスコードを入力し、[アクティブ化] をクリックします。ライセンスコードは、製品の購入確認メールに記載されています。

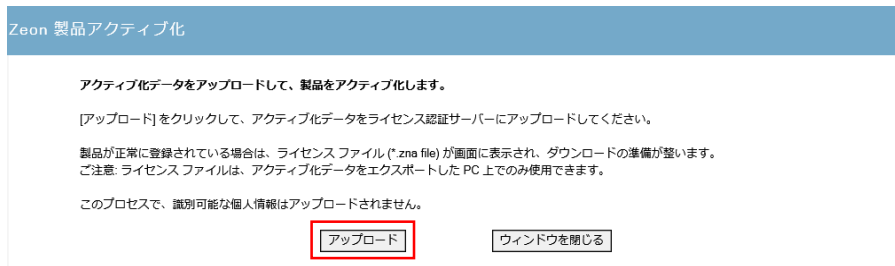


5. [次へ] をクリックして、.htm ファイルを保存します。

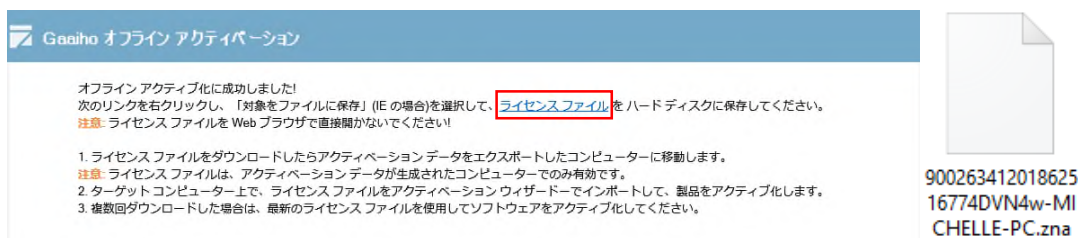


6. 保存したアクティベーション データをインターネットに接続されたコンピューターに移動し、ブラウザでファイルを開きます。

## 7. [アップロード] をクリックします。



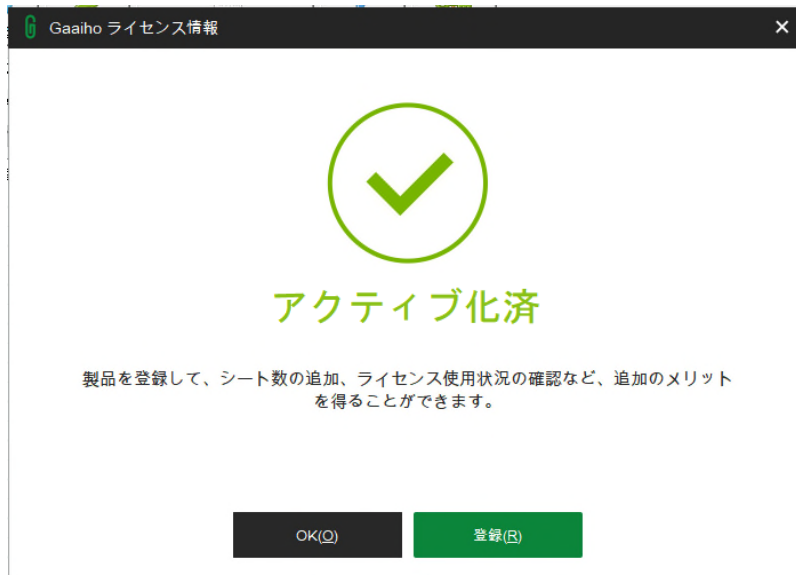
## 8. [ライセンス ファイル] のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] を選択して、ライセンス ファイル(.zna) をダウンロードして保存します。



## 9. ソフトウェアがインストールされている元のコンピューターに .zna ファイルを移動します。ウィンドウ中央のアイコンをクリックして .zna ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



## 10. オフライン アクティブ化が完了しました。





## 非アクティブ化

1 ライセンス コピーは、1 台のコンピューター上の製品のみをアクティブ化できます。製品を他のコンピューターにインストールして使用する場合は、元のコンピューターで製品を非アクティブ化してから、他のコンピューターにインストールされた製品をアクティブ化する必要があります。

## オンラインでの非アクティブ化

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、オンラインですぐに製品を非アクティブ化できます。

1. [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [ライセンス情報] を選択するか、次のいずれかの操作を行います。
  - **Gaiiho PDF Server** のユーザーは、PDF Server Console または Watch Folder アプリケーションを実行して [ライセンスについて] をクリックします。
  - **Gaiiho PDF Suite** のユーザーは、Gaiiho Doc アプリケーションを起動して、[ヘルプ] > [ライセンス情報] をクリックします。または、Gaiiho PDF Converter を実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
  - **Gaiiho PDF Converter** ユーザーは、アプリケーションを実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
2. [Gaiiho ライセンス情報] ウィンドウで、[非アクティブ化] をクリックします。



3. [オンライン] を選択して、製品を非アクティブ化します。





4. 非アクティブ化が完了しました。



## オフラインでの非アクティブ化

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、まずは非アクティブ化データをエクスポートして、インターネットに接続されたコンピューターに移動し、オフライン 非アクティブ化サーバーにアップロードする必要があります。

1. [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [ライセンス情報] を選択するか、次のいずれかの操作を行います。
  - **Gaiiho PDF Server** のユーザーは、PDF Server Console または Watch Folder アプリケーションを実行して [ライセンスについて] をクリックします。
  - **Gaiiho PDF Suite** のユーザーは、Gaiiho Doc アプリケーションを実行して、[ヘルプ] > [ライセンス情報] をクリックします。または、Gaiiho PDF Converter を実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
  - **Gaiiho PDF Converter** ユーザーは、アプリケーションを実行し、[サポートを表示]  をクリックして、[ライセンス情報] を選択します。
2. [Gaiiho ライセンス情報] ウィンドウで、[非アクティブ化] をクリックします。



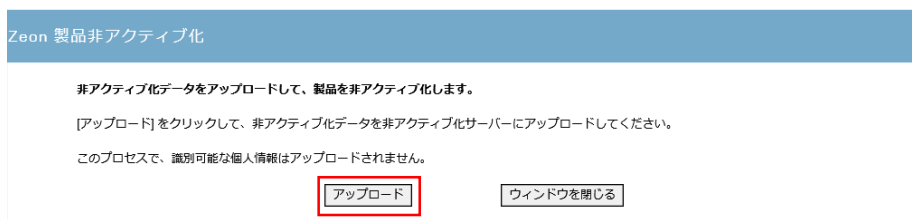
3. [オフライン] を選択して、非アクティブ化ファイル (.htm) を保存します。



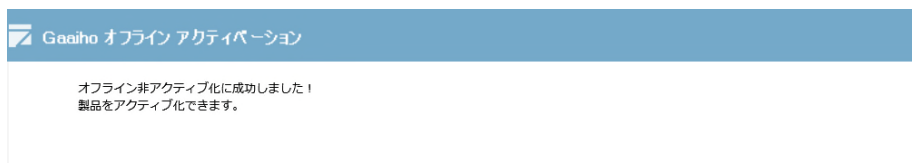
4. [次へ] をクリックし、非アクティブ化データ(.htm) をインターネットに接続できるコンピューターに移動し、ブラウザでファイルを開きます。



5. [アップロード] をクリックします。



6. オフライン 非アクティブ化が完了しました。



## アップデート、アップグレードとメンテナンス

### アップデート

Gaiiho 製品の正式版のユーザーは、**同じメジャーバージョン内** (例 v5.0 から v5.1) で無料で、ライセンスコードは変更されずにアップデートできます。

### アップグレード

Gaiiho PDF 製品のユーザーは、アップグレードを購入することにより、より高いメジャーバージョン (例: V5.0 から V6.0) にアップグレードできます。[Gaiiho オンラインストア](#)から直接に購入することを推奨します。登録された Gaiiho ユーザーはアップグレード割引をご利用できます。

### メンテナンス

ソフトウェアメンテナンス サービス (SMS) は、次のサービスを提供します。

- **新製品のリリースバージョン** – 無料でソフトウェアをアップグレードして、常に最新のバージョンに維持できます。将来アップグレードを計画している場合は、SMS を利用するほうが新しいバージョンを新規購入するよりもコスト パフォーマンスに優れています。
- **同じライセンスコードを使用** – 元のライセンスコードを新バージョンで直接利用し、ライセンスコードの管理に便利です。
- **優先的な技術サポート** – SMS を購入したユーザーは、優先的な技術サポートを利用できます。

SMS の詳細については、[Gaiiho オンラインストア](#)を参照してください。

## 第二章 Gaiiho PDF Server

### [PDF Server Console の概要](#)

#### [サーバーの起動](#)

#### [コンソールの設定](#)

#### [ジョブと接続状態の表示](#)

**Gaiiho PDF Server** は、異なる形式のファイルを大量に PDF に変換できる中央配置のツールです。サーバー ホスト接続されているすべてのコンピューターは、PDF Server クライアントプログラムを使用してファイルを一括変換、結合、オーバーレイ、または複数のファイルを 1 つの PDF にパッケージすることができます。サーバー ホストに同時に接続可能なクライアント数は制限されていないが、変換量の上限は、購入されたライセンスのレベルによって異なります。

Gaiiho PDF Server には、PDF Server Console (サーバー ホストにインストール) と PDF Server Client (クライアントコンピューターにインストール) の 2 つのプログラムが含まれています。また、システムやワークフローにソフトウェアを統合する必要がある企業に SDK を提供しています。



# PDF Server Console

PDF Server Console は、クライアント デバイスからサーバーへの接続を監視および管理します。各クライアントからの接続と変換ジョブの情報 (接続状況、ファイル サイズ、ジョブ種類など) を表示したり、変換設定を構成したり、サーバーへの接続を許可する IP を決定したりできます。

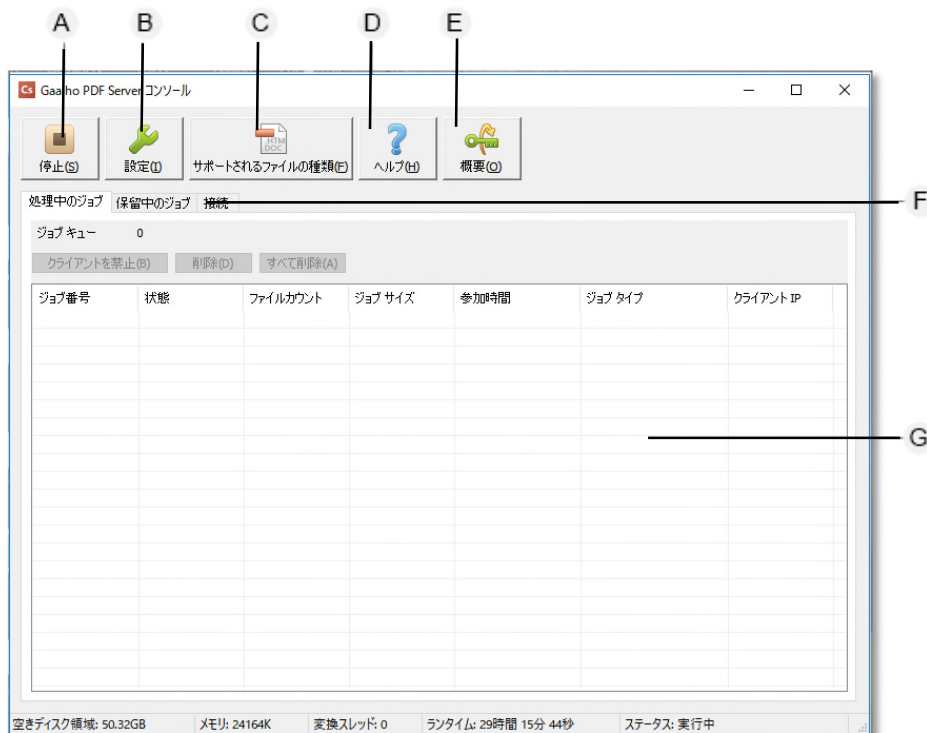
**注意:** PDF Server Console は、サーバー マシンにのみインストールします。なお、一度に 1 台の PDF Server のみアクティブかできます。



## サーバー コンソール概要


1. 次のいずれかを実行して PDF Server Console を起動します。


- ・ デスクトップ上の **PDF Server Console アイコン**  をダブルクリックします。
- ・ タスク バーの **PDF Server Console アイコン**  をクリックします。アイコンをタスクバーにピン留めするには、Gaiiho Server Console を起動し、タスクバーのコンソールのアイコンを右クリックし、[タスクバーにピン留めする] を選択します。
- ・ [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [Gaiiho PDF Server] > [PDF Server Console] を選択します。


2. Gaiiho PDF Server コンソール ウィンドウでは、プログラムのアクティブかと非アクティブ化、コンソール設定の調整、サポートされているファイルの種類の確認、現在のすべてのジョブと接続の表示を行うことができます。




**開始**  (A) PDF Server コンソールを開始し、クライアントから接続を受け入れます。PDF Server コンソールを開始すると、クライアント上で利用できるようになります。PDF Server コンソールを開始後に表示される **[停止]**  ボタンを使用して、コンソールを停止して現在実行中のすべてのジョブを終了することができます。詳細については、[サーバーの起動](#)を参照してください。また、PDF Server コンソールが開始されていない状態でも、サーバーマシン上で印刷機能を使用してファイルを PDF に変換することができます。

**設定**  (B) コンソールの設定を変更します。全般と詳細設定を提供します。詳細については、[コンソールの設定](#)を参照してください。

**サポートされているファイルの種類**  (C) サポートされているファイルの種類を表示します。詳細については、[サポートされているファイルの種類](#)を参照してください。

**ヘルプ**  (D) ユーザー マニュアルへのリンクを含む Web ページを開きます。

**概要**  (E) [Gaiho ライセンス情報] ダイアログ ボックスを開き、製品をアクティブ化または非アクティブ化し、製品情報を表示します。



(F) サーバーに接続された各クライアントから要求されたジョブを監視し、各接続の情報を表示します。特定のクライアント IP をブロックしたり、保留中のジョブを取り消したり、ジョブの順序を変更することができます。


**キュー (G)** 処理中のジョブ、保留中のジョブおよび接続の詳細情報 (ジョブの処理状態、ジョブサイズ、ジョブタイプ、クライアント IP、ファイルカウントおよび接続状態など) がここに表示されます。詳細については、[ジョブと接続状態](#)を参照してください。

## サーバーを起動

クライアントからの接続の受け入れを開始するには、PDF Server Console アプリケーションを開始する必要があります。そうしないと、クライアントは接続しようとしたときサーバーを見つけることができません。


1. 次のいずれかを実行して、PDF Server Console を起動します。

- ・ デスクトップ上の **PDF Server Console アイコン**  をダブルクリックします。
- ・ タスクバーの **PDF Server Console アイコン**  をクリックします。アイコンをタスクバーにピン留めするには、PDF Server Console を起動し、タスクバーのコンソールのアイコンを右クリックして、[タスクバーにピン留めする] を選択します。
- ・ [スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiiho] > [Gaiiho PDF Server] > [PDF Server Console] を選択します。

2. [Gaiiho PDF Server コンソール] ウィンドウで [開始] をクリックしてサーバーを起動し、接続の受け入れを開始します。サーバーをシャットダウンして処理中のジョブを停止するには、[停止]  をクリックします。

**注意:** PDF Server Console が起動されているかどうかに関係なく、サーバーマシン上の Gaiiho PDF 仮想プリンターを使用して、他の形式のファイルを PDF に変換することができます。

## コンソールの設定

Gaiiho PDF Server コンソールの設定  では、ログファイル、変換設定、ユーザー IP および同時に処理可能なジョブの最大数を設定するためのオプションが用意されています。

### 全般

**Windows 起動時に自動変換を開始** Windows 起動時に PDF Server Console を自動的に起動します。

**クライアントにドキュメント処理の詳細を返す** ドキュメントの変換処理中、クライアントに変換情報を返します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

**許可\_同時ジョブ** PDF サーバー上の同時処理可能なジョブ数を制限します。ハードウェアの性能によって変換のパフォーマンスが決まります。

**サーバー IP** 現在のサーバー IP を設定します。サーバーが既に起動されている場合、この設定を無効になっています。

**新しいファイルの作成** ログ ファイルの作成頻度を設定します。ログ ファイルを毎日作成するように [毎日] を選択するか、[ファイル サイズが] を選択して、\_\_ **MB** フィールドで指定したサイズに達したときに新しいログ ファイルが作成されるようにします。[毎日] を選択すると、\_\_ MB 設定は無効になります。

**ログ ファイルのフォルダー** ログ ファイルを保存する場所を設定します。デフォルトでは、ログ ファイル名は PDFServer\_#.log です。

## 詳細設定

**作業フォルダー** 大容量のディスク領域を必要とするアップロードされたファイルと一時ファイルを格納します。使用可能なディスク領域が 200 MB 以下になると、ステータスバーで警告が表示されます。

**クライアントは変換設定をカスタマイズ可能** クライアントのカスタマイズ変換設定を結果 PDF ドキュメントに適用します。このオプションは、サーバーが起動している場合無効になります。

**クライアントはサーバー設定の変換設定を使用する** 上記のオプションと異なり、クライアントのカスタマイズ変換設定を適用するのではなく、サーバーの変換設定を結果 PDF ドキュメントに適用します。このオプションは、サーバーが起動している場合無効になります。

**変換設定を編集...** サーバーの変換設定を構成します。詳細については、[クライアントの変換設定](#)を参照してください。

**許可\_クライアントは同時サーバーに接続する** 同時にサーバーに接続できるクライアントの数を設定します。既定値は 100 です。

**すべてのクライアントがサーバーへの接続を許可** 例外 IP 以外のすべてのクライアントのサーバーへの接続を許可します。[例外] ウィンドウに禁止するクライアントの IP を追加して、特定のクライアントの接続を禁止することができます。

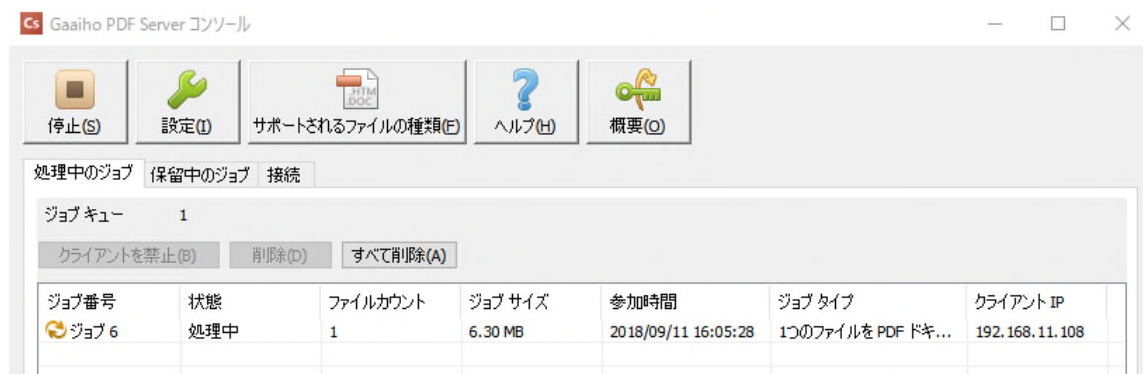
**すべてのクライアントを禁止** 例外 IP 以外のすべてのクライアントのサーバーへの接続を禁止します。[追加] および [削除] ボタンを使用して、特定のクライアントのみがサーバーに接続できるように制御できます。

## ジョブと接続状態の表示

PDF Server Console ウィンドウには、各クライアントの接続状態と変換ジョブの詳細情報 情報 (ジョブ番号、状態、ジョブ タイプおよびクライアント IP など) が表示されます。特定のクライアントをブロックしたり、保留中のジョブをキャンセルしたり、ジョブの実行順序を変更することができます。

### 処理中のジョブ

[処理中のジョブ] タブでは、クライアントで実行された処理中のすべての変換ジョブの一覧がキューに表示されます。現在のジョブを選択し、[削除] ボタンをクリック (または右クリックして [削除] を選択) してジョブを削除したり、[クライアントを禁止] を使用して選択したクライアントのサーバーへの接続を禁止したり(コンソール設定で禁止をいつでも解除可能)、[すべて削除] を使用してすべての変換ジョブを取り消すことができます。



### 保留中のジョブ

[保留中のジョブ] タブでは、変換を待機しているすべてのジョブの一覧がキューに表示されます。サーバーが同時に処理できるジョブの数は、コンソール設定で指定します。プログラムはジョブキューでの順序でジョブを実行します。保留中のジョブの順序は、[上へ] と [下へ] ボタンを使用して調整できます。また、[クライアントを禁止] ボタンを使用してこのウィンドウでクライアントを直接ブロックしたり、[すべて削除] ボタンを使用して保留中のジョブをすべて取り消すこともできます。

### 接続の一覧

[接続] タブでは、その時点でサーバーに接続しているすべてのクライアントが一覧表示されます。コンソール設定でクライアント接続の上限を設定したり、[クライアントを禁止] ボタンを使用し

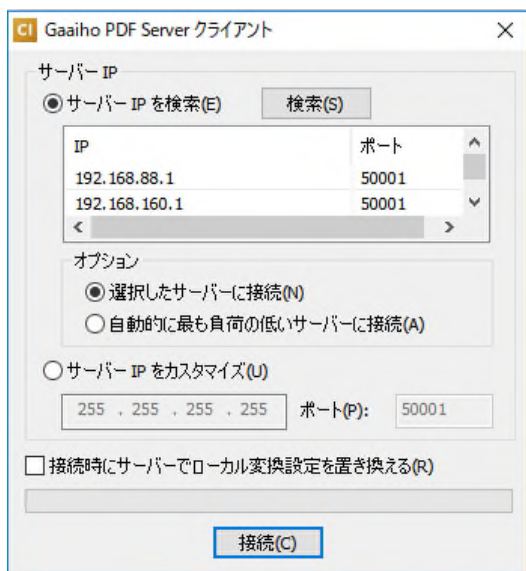
で特定の IP の接続を禁止したり、[切断] ボタンをクリックして、選択したクライアントの接続を強制的に切断することができます。

### クライアントを禁止

特定のクライアントからの接続を永久にブロックします。ブロックするクライアントの接続を選択して、[クライアントを禁止] ボタンをクリックします。[OK] をクリックすると、ブラックリストに登録されたクライアントは、サーバーに接続できなくなります。ブロックを解除するには、[コンソール設定] > [詳細設定] > [クライアント IP] > [例外] からブロックされた IP を削除します。

### 切断

選択したクライアントをサーバーから強制的に切断します。切断されたクライアントからのすべての処理中のジョブと保留中のジョブは取り消されます。なお、サーバーはそのクライアントからの新しいジョブを受け付けなくなります。サーバーに再接続するには、まずクライアントアプリケーション ウィンドウを閉じ、PDF Server Client を再起動して、[接続] をクリックします。



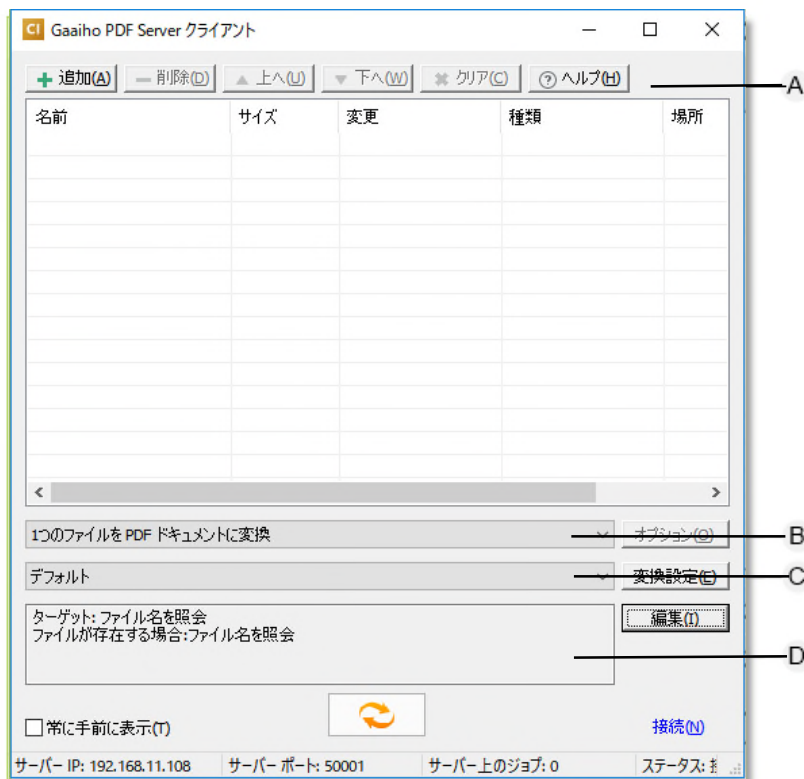
# PDF Server Client

PDF Server Client を使用して変換ジョブを実行できます。クライアントがサーバーを見つけて接続できるように、PDF Server Console を事前に起動する必要があります。PDF を作成するだけでなく、複数のファイルを結合、オーバーレイおよびパッケージ化することもできます。

クライアントは、サーバー コンソールで許可されている場合にのみ、独自のカスタマイズ変換設定を使用できます。コンソールの変換設定で、クライアントが変換設定をカスタマイズできるように許可するか、サーバーから指定された変換設定を使用する必要があるかを決定します。






## クライアントの起動と実行

### クライアント ウィンドウ



### ファイル リスト (A)

- ・ **追加** + 新增(A) 変換するファイルのリストを作成します。ローカル コンピュータまたは DMS サーバーからファイルを選択して追加するか、ファイルをリストにドラッグ アンド ドロップすることができます。

- ・ **削除**  / **クリア**  削除ボタンを使用して選択したファイルをリストから削除します。または [クリア] ボタンを使用してすべてのファイルをリストから削除します。このボタンはファイル リストにのみ影響します。リストから削除されたファイルはコンピューターから削除されません。
- ・ **上へ**  / **下へ**  [上へ] と [下へ] ボタンを使用してファイル リスト内のファイルの順序を変更します。ファイルは順序通りに PDF に変換されます。
- ・ **ヘルプ**  ドロップダウン メニューには、[ヘルプ ファイル] と [サポートされるファイルの種類] 2つのオプションがあります。[ヘルプ ファイル] を選択すると、ユーザーマニュアルのリンクを含む Web ページが表示されます。[サポートされるファイルの種類] を選択すると、システムで PDF に変更可能なファイル種類のリストが表示されます。詳細については、[サポートされるファイルの種類](#)を参照してください。ファイルの種類を印刷できるプログラムがない場合は、変換できません。一般的に、ファイルが印刷可能であれば、PDF に変換することが可能です。

注意： [サポートされるファイルの種類] リストに表示されていないファイルを変換すると、変換の結果が理想的でない場合があります。

**常に手前に表示** PDF Server クライアント ウィンドウを常に他のウィンドウの上に表示します。

**接続** クライアントが起動時に自動的にサーバーに接続できるようにサーバーの IP を設定します。

**変換方法 (B)** ドロップダウン メニューから変換方法を選択します([変換方法](#)を参照)。

- ・ **1つのファイルを PDF ドキュメントに変換** ソース ドキュメントごとに個別の PDF ファイルを作成します。
- ・ **ファイルを単一の PDF ドキュメントに結合** 指定された順序でファイルを結合して、1つの PDF ファイルを作成します。
- ・ **ファイルを単一の PDF ドキュメントにオーバーレイ** 2つ以上のファイルの内容をオーバーレイします。
- ・ **複数のファイルから PDF パッケージを作成** 複数のファイルを1つの PDF ポートフォリオにパッケージ化します。


**変換設定 (C)** 互換性、フォントの埋め込み、圧縮、セキュリティ、透かしなどの変換設定を編集できます。詳細については、[変換設定](#)を参照してください。

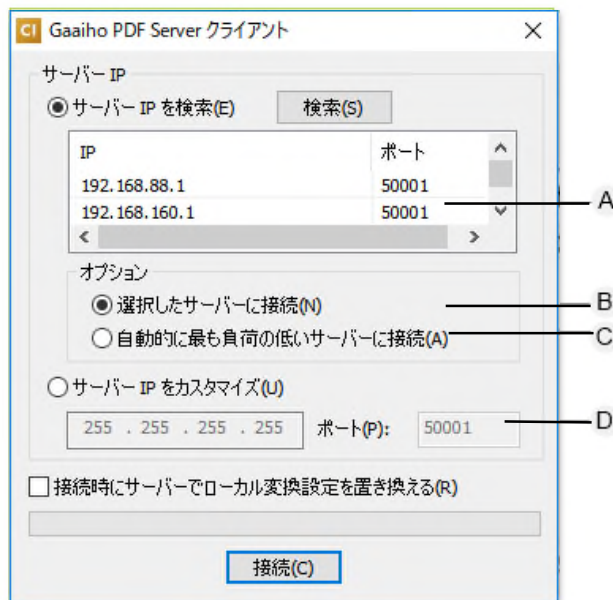
**保存設定 (D)** 生成された PDF ファイルの保存先を選択し、同じファイル名のファイルが既に存在する場合のプログラムの動作を決定します。詳細については、[保存設定](#)を参照してください。

## サーバーに接続

PDF Server Client でファイルを変換するには、まずサーバーに接続する必要があります。

### 接続方法

1. デスクトップ上のショートカット  をダブルクリックするか、[スタート] > [すべてのアプリ] > [Gaiho] > [Gaiho PDF Server] > [PDF Server Client] を選択します。
2. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、接続先のサーバー IP アドレスがわかっているかどうかに応じて、必要なオプションを選択します。接続先のサーバーの IP アドレスがわかっている場合は、[サーバー IP をカスタマイズ] を選択し、下のフィールドにサーバー IP とポートを入力できます。それ以外の場合は、[サーバー IP を検索] を選択して、[検索] ボタンをクリックします。



**サーバー IP を検索** サーバー IP がわからない場合は、このオプションを選択して [検索] ボタンをクリックします。検出された IP アドレスは、簡単にアクセスできるようにドロップダウン ボックス (A) に表示されます。利用可能なサーバーの一覧が作成されたら、接続するサーバーを選択します。[オプション] で、選択したサーバーに接続する (デフォルト) 場合は [選択したサーバーに接続] (B) を選択するか、[自動的に最も負荷が低いサーバーに接続] (C) を選択します。

**サーバー IP をカスタマイズ** サーバー IP がわかっている場合は、このオプションを選択し、下のボックス (D) にサーバー IP を入力します。

3. クライアント独自の変換設定の代わりにサーバーの変換設定を適用する場合は、[接続時にサーバーでローカル変換設定を置き換える] をチェックボックスをオンにします。

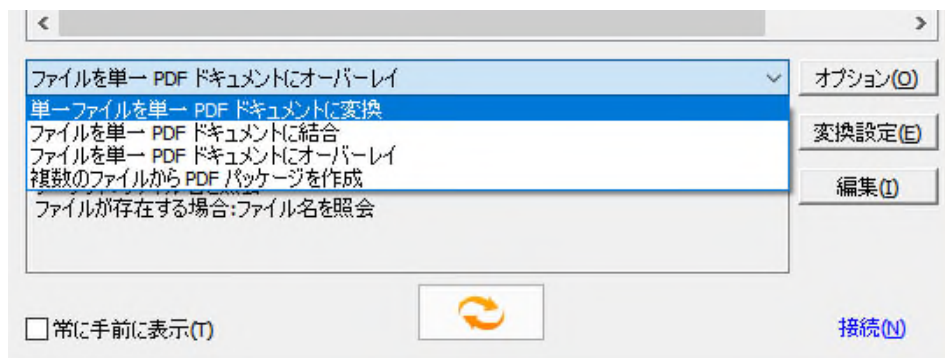
4. **[接続]** をクリックして、PDF Server Client を起動します。

**注意:** サーバー IP がわからず、サーバー IP の検索に失敗した場合は、ネットワーク管理者に支援依頼してください。

## クライアントの変換設定

### 変換方法

クライアントアプリケーションは、サーバーに接続されると、他の形式のファイルを PDF に変換することができます。ファイルを PDF に変換することだけでなく、複数のファイルを PDF に結合、オーバーレイまたはパッケージ化することもできます。



**単一ファイルを単一 PDF ドキュメントに変換** ソース ドキュメントごとに個別の PDF を作成します。

**ファイルを単一 PDF ドキュメントに結合** 指定された順序で複数のファイルを結合して単一の PDF ファイルを作成します。結果の PDF ドキュメントにしおりを追加するには、[オプション] をクリックし、[ファイル名をしおりとして追加] をオンにします。

**ファイルを単一 PDF ドキュメントにオーバーレイ** 選択したソース ファイルの内容を1つの PDF ドキュメントにオーバーレイします。[オプション] をクリックして、オーバーレイする位置を指定します。また、ページ数が異なる複数のドキュメントをオーバーレイするときに、**[短いドキュメントの最後のページを繰り返しオーバーレイする]** をオンにして、すべてのページをオーバーレイします。詳細については、[ファイルを単一 PDF ドキュメントにオーバーレイ](#)を参照してください。

**複数のファイルから PDF パッケージを作成** 複数のファイルを PDF に変換して 1つの PDF ポートフォリオにパッケージ化します。PDF ポートフォリオでの各 PDF は、それぞれ個別のドキュメントを維持します。[オプション] をクリックして表紙設定を調整します。

## 変換設定

変換設定は、PDF 作成処理に影響を与える設定 (例えば、互換性、フォントの埋め込み、圧縮、セキュリティ、透かしなど) をまとめたものであり、再利用できません。PDF Server Client には、5 つの組み込みの編集可能な プリセットが用意されています。

[変換設定] ボタンをクリックすると、[変換設定] ダイアログが表示されます。ここで新しい変換プロファイルを作成したり、既存のプロファイルを変更または削除することができます。定義済みのプロファイルと作成したプロファイルは、[変換設定] ダイアログ ボックスの左側のパネルに表示されます。


デフォルトでは、[変換設定] ダイアログ ボックスの左側のパネルに 5 つの定義済プロファイルが表示されます。

- ・ デフォルト
- ・ 低画質サンプル
- ・ セキュリティサンプル
- ・ 高画質サンプル
- ・ 透かしサンプル

新しい設定プロファイルを作成したり、既存のプロファイルを変更または削除することができます。

**注意:** PDF Server Console の変換設定でクライアントが変換設定をカスタマイズできるように許可していない場合、クライアントがプロファイルの設定を調整することはできません。サーバー側の変換設定が適用されます。

[変換設定] ダイアログ ボックスを開くには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ PDF Server Client で [変換設定] ボタンをクリックします。
- ・ Windows の通知領域にあるアプリケーション アイコン  を右クリックし、[変換設定を編集] を選択します。

### 新しいプロファイルを作成

1. [変換設定] ダイアログ ボックスで [新規作成] ボタンをクリックするか、既存のプロファイルが表示されている左側のパネルの任意の場所を右クリックし、[新規作成] を選択します。
2. [新しい変換設定] ダイアログで、[変換設定の名前] ボックスにプロファイル名を入力し、[OK] をクリックします。新しく作成されたプロファイルは、デフォルト値で既存のプロファイルに追加されます。

3. 必要に応じてプロファイル値を調整します。

**注意:** 定義済または新規作成を問わず、任意のプロファイルを削除することができます。

### 既存の変換プロファイルを変更

既存のプロファイルは、[変換設定] ダイアログ ボックスの左側のパネルに表示されます。必要に応じて、プロファイルを変更します。設定を編集するには、コンボ ボックスを調整し、リストから項目を選択します。その他のオプションについては、各プロパティの右側にある [詳細設定...] をクリックします。

- ・ プロファイルを削除するには、削除するプロファイルをして [削除] ボタンをクリックするか、パネルの任意の場所を右クリックして、[削除] を選択し、[OK] をクリックします。定義済のプロファイルまたは新規作成を問わず、任意のプロファイルを削除できます。
- ・ プロファイルの名前を変更するには、名前を変更するプロファイルをダブルクリックして、新しい名前を入力するか、パネル内の任意の場所を右クリックして [名前の変更] を選択し、新しい名前を入力します。

**注意:** 誤ってプロファイルを削除した場合は、デフォルトの設定で新しいプロファイルを作成し、値を再調整します。

### プロファイルの設定

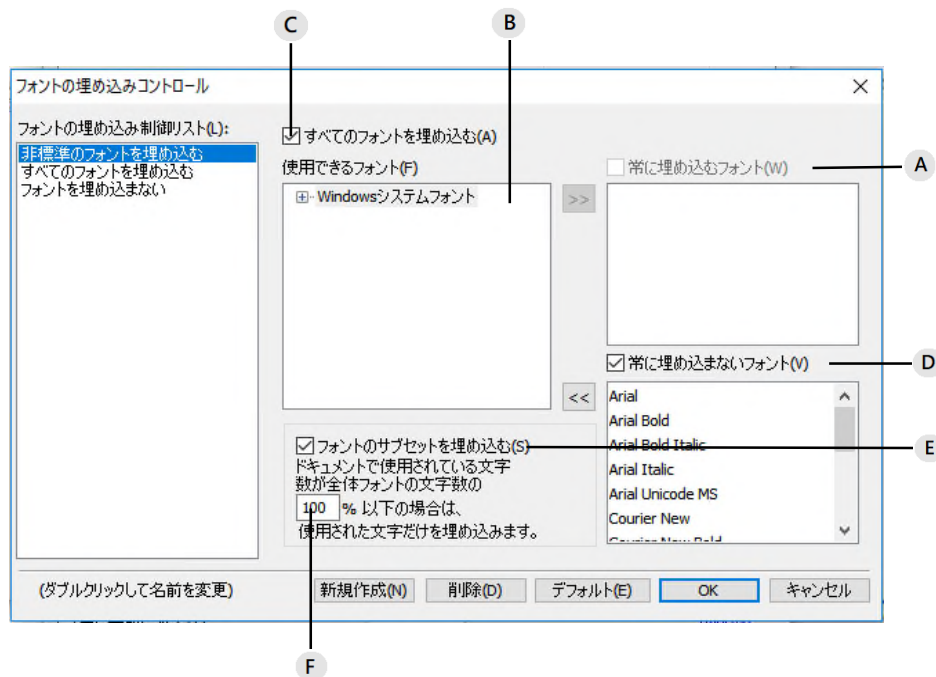
**互換性のある PDF 形式** 生成された PDF のバージョンを決定します。Gaiho PDF Server 5.0 は、PDF 1.3 から PDF 1.7 から PDF 2.0 および PDF/A をサポートしています。クライアントや同僚の PDF アプリケーションのバージョンに合わせて、PDF ファイルの互換性レベルを変更する必要があります。

Gaiho PDF Server 5.0 は、Gaiho Doc 5.0 で開いて表示したり、変更できる ISO 32000-2 (PDF 2.0) ドキュメントの作成をサポートしています。一般的には、常に最新バージョン (この場合は PDF 2.0) を使用してください。ただし、広く配布するドキュメントを作成する場合は、PDF 1.6 または 1.7 を選択して、すべてのユーザーがドキュメントを表示および印刷できるようにすることをお勧めします。

**Web 表示用に最適化** Web 上の PDF ドキュメントの表示スピードを向上させます。

**フォントの埋め込み** PDF Server は、PDF ドキュメント内にフォントの埋め込みができます。フォントを埋め込むと、PDF の作成スピードが遅くなり、ファイル サイズが大きくなりますが、ユーザーのコンピューターで使用可能なフォントに関係なく、ドキュメントのレイアウトと外観が保持されることが保証されます。PDF に埋め込むフォントとフォントの PDF で使用するフォントのサブセットを埋め込むかどうかも設定できます

[フォントの埋め込み] ドロップダウン メニューから 次の標準コントロールを選択します: **非標準のフォントを埋め込む (既定)**、**すべてのフォントを埋め込む**、または**フォントを埋め込まない**。既定の設定では、すべてのコンピューターに必要な最も一般的なフォント (Arial、Times New Roman、Courier と Symbol) 以外のすべてのフォントが埋め込まれます。右側にある [詳細設定...] をクリックすると、フォントの埋め込みコントロール ダイアログ ボックスが表示されます。必要に応じて次のオプションを選択できます。

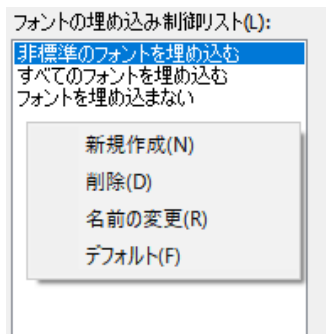


- ・ **常に埋め込むフォント (A)** 常に埋め込むフォントを指定します。[すべてのフォントを埋め込む] の選択を解除し、[常に埋め込むフォント] を選択して、[使用できるフォント] ボックス (B) からフォントを1つずつ選択し、>> ボタンをクリックしてそれらを [常に埋め込むフォント] ボックスに移動します。
- ・ **すべてのフォントを埋め込む (C)** ドキュメントで使用されているすべてのフォントを埋め込む場合に選択します。特定のフォントのみを埋め込む場合は、このオプションの選択を解除し、[使用できるフォント] 一覧からフォントを選択して、[常に埋め込むフォント] ボックスに移動します。
- ・ **常に埋め込まないフォント (D)** 埋め込まないフォントをこの一覧に移動します。[常に埋め

込まない] を選択して、目的のフォントが一覧表示されるまでフォントを追加または削除します。

- ・ **フォントのサブセットを埋め込む (E)** ドキュメントで使用されている文字数が全体フォントの文字数のしきい値のパーセント未満(F) で使用されている文字だけを埋め込みます。例えば、しきい値を 90% に指定すると、ドキュメントで使用されている文字数が全体フォントの文字数の 90%未満の場合は、使用されている文字だけが埋め込まれます。

新しいフォントの埋め込み制御を作成するには、ダイアログ ボックスの下部にある [新規作成] ボタンをクリックするか、[フォントの埋め込み制御リスト] パネルを右クリックし、メニューから [新規作成] を選択します。新しいコントロールのタイトルを入力して、[OK] をクリックします。それから必要に応じて埋め込みオプションをカスタマイズします。コントロールを削除するには、削除するコントロールを選択して、[削除] をクリックするか、パネルを右クリックして [削除] を選択します。指定されたコントロールをデフォルト値に戻すには、[デフォルト] をクリックするか、パネルを右クリックして [デフォルト] を選択します。これにより、ユーザー定義のコントロールも削除されます。



**圧縮** テキスト、グラフィック (ラインアート)、カラー、グレースケールとモノクロ (白黒) イメージに圧縮を適用して、PDF のファイルサイズを縮小します。圧縮レベルを選択するか、独自の圧縮設定を使用することができます。[圧縮] ドロップダウンメニューから**圧縮率最小-最高画質、圧縮率小-高画質、標準、圧縮率大-低画質、圧縮率大~最大-粗い画質、圧縮率最大-画像なし**を選択できます。[**圧縮率最大-画像なし**] を選択すると、ソースドキュメント内の画像を PDF から削除します。

各コントロールの圧縮設定を表示および編集したり、新しいコントロールを作成したり、既存のコントロールを削除するには、[詳細設定...] ボタンをクリックして、[圧縮コントロール] ダイアログを開きます。

左側の [圧縮コントロールリスト] から圧縮コントロールを選択し、必要に応じて右側の圧縮のオプションを使用して設定を編集します。

- ・ **自動設定を使用 (推奨)** スライダーを使用して圧縮率を調整します。スライダーをあら

はじめ設定された値から選択した値に移動します。圧縮はドキュメント内のテキスト、ラインアートおよびイメージに適用されます。ファイルサイズが小さくなるほど、画質が落ちます。

- ・ **カスタム設定を使用** カラー、グレースケール、白黒の画像の圧縮形式、リサンプルと解像度の設定を定義して、ファイルサイズと画質のバランスを最適化します。

**圧縮形式** 特定の形式を使用してカラー、グレースケール、白黒の画像に圧縮を適用します。カラーとグレースケール画像の圧縮には、JPEG2000、JPEG と ZIP が選択可能で、白黒画像の圧縮には、ZIP、CCITT Group と Run Length が選択できます。影像処理アプリケーションとワン ビットスキャンの白黒イメージに対して、CITT (Consultative International Coordinating Committee for Telephony and Telegraphy) 圧縮は、ペイントアプリケーションで作成した白黒イラストや、1ビットの色深度でスキャンした画像に適しています。Run Length 圧縮は、塗りつぶしの白または黒が広いエリアを占める画像に適しています。

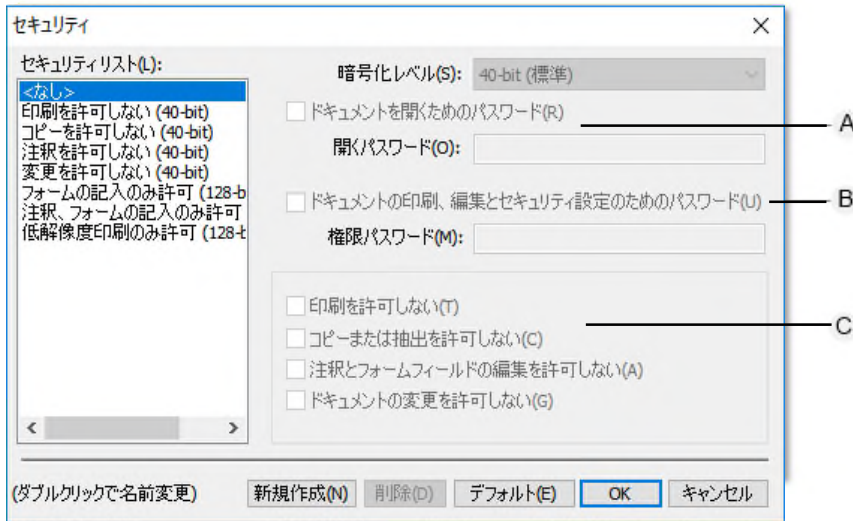
**画質** カラーとグレースケール画像に対して、高、中-高、中、中-低、低 5つの定義済みの画質オプションがあります。

**リサンプル** 画像のピクセル数を変更します。ダウンサンプルは、画像のサンプル領域のピクセルを結合して1つも大きなピクセルを作成することにより、画像のピクセルの数を減らします。サブサンプルは、指定された解像度で領域全体をそのサンプル領域から選択されたピクセルで置き換えます。

**解像度** ダウンサンプルまたはサブサンプルの解像度を指定します。

**セキュリティ** パスワードを設定して出力 PDF を保護します。[セキュリティ] ドロップダウンメニューからセキュリティ コントロール (**印刷を許可しない、コピーを許可しない、注釈を許可しない、変更を許可しない、フォームの記入のみ許可、注釈、フォームの記入のみ許可、または低解像度印刷のみ許可**) を選択します。[詳細設定...] をクリックして、選択したセキュリティ コントロールのセキュリティ設定を表示または編集できます。

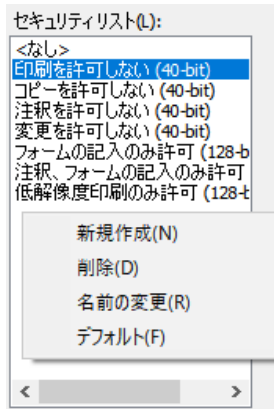
[セキュリティ] ダイアログ ボックスの **[暗号化レベル]** ドロップダウン メニューから暗号化レベルを選択し、出力 PDF を保護するための暗号化種類を指定します。



- ・ **ドキュメントを開くためのパスワード (A)** 開くパスワードを使用した場合、PDF ドキュメントを開くためにパスワードの入力が必要です。正しいパスワードを持っている人だけが PDF ファイルを開いて表示することができます。開くパスワードは、**[開くパスワード]** ボックスに入力して設定します。
- ・ **ドキュメントの印刷、編集とセキュリティ設定のためのパスワード (B)** 権限パスワードを使用した場合、権限設定を変更するときにパスワードが必要です。権限パスワードを使用して PDF の内容の印刷、コピーまたは抽出、注釈の追加、編集、変更など (C) 特定の機能を制限できます。このパスワードは、PDF を開くことを制限しません。正しい権限パスワードを持つユーザーだけが、制限設定を変更することができます。権限パスワードは、**[権限パスワード]** ボックスに入力して設定します。

権限を設定する前に、権限パスワードを入力して確認し、暗号化レベル (40 ビット(標準) または 128 ビット)を指定する必要があります。暗号化レベルによって、設定可能な権限が決定されます。

[セキュリティ] ダイアログ ボックスの下部にある [新規作成] [削除] または [デフォルト] ボタンを使用するか、[セキュリティ リスト] パネルを右クリックし、[新規作成] [削除] または [デフォルト] を選択して、新しいセキュリティ コントロールを作成したり、既存のセキュリティ コントロールを削除したり、デフォルト設定に戻すことができます。新しいコントロールを作成するには、[新規作成] を選択して、新しいコントロールのタイトルを入力します。選択したセキュリティ コントロールを削除するには、[削除] を選択します。指定されたコントロールをデフォルト値に戻し、ユーザー定義のコントロールを削除するには、[デフォルト] を選択します。



**注意:** PDF Server クライアントは、通常、PDF アプリケーションで表示、印刷、検索および変更できる一般的な PDF ファイルを作成します。ただし、一部の操作が禁止されていて、ユーザーが正しい権限パスワードを提供できない場合、PDF はイメージのみとして表示されることがあります。

**透かし** PDF の最初のページまたはすべてのページに透かしを追加します。透かしは、スタンプのようなもので、テキスト (コピー禁止、Draft、サンプルなど)、イメージ (会社ロゴ) または複合 (既存の透かしの組み合わせ) の透かしが利用できます。また、既存 PDF のページを新しい PDF の透かしとして使用することもできます。

必要に応じて、使用する透かしの種類を選択してそのプロパティと位置を設定します。[名前] ドロップダウンメニューから透かしコントロールを選択し、[詳細設定...] をクリックして、その設定を表示または変更できます。

## 名前

- **会社ロゴ** (イメージまたは PDF ファイルから会社ロゴをインポート)
- **コピー禁止** (灰色の縦書きテキスト、左上)
- **Draft** (灰色、斜めのテキスト、中央)
- **サンプル** (赤、斜めのテキスト、左下)
- **複数ページにわたる透かし** (イメージまたは PDF ファイルからイメージをインポート)
- **PDF 透かし** (PDF ファイルから透かしをインポート)
- **コンポジット** (テキストとイメージ透かしの組み合わせ)
- **Confidential** (灰色のテキスト、5 つの位置選択肢が可能)

## 不透明度

透かしの不透明度を定義します。スライダーまたは編集ボックスを使用して、0 (完全に透明) から 100 (完全に不透明) の間の値を定義します。

### 最初のページのみ

このオプションを選択すると、透かしは最初のページにのみ配置されます。このオプションを選択解除すると、透かしは PDF のすべてのページに配置されます。

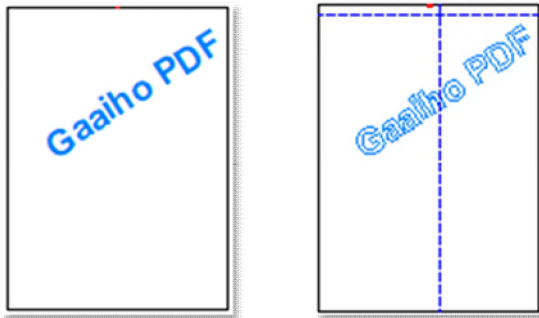
### 背景として

このオプションを選択すると、透かしは PDF の背景としてページ内容の下に配置されます。このオプションを選択解除すると、透かしはページ内容の上に配置されます。この場合、部分的に透明な透かしを推奨します。

**[透かしの詳細設定]** ダイアログ ボックスの右側のボックスで各オプションの外観をプレビューできます。

**透かしの種類** 透かしを新規作成または変更する時、まずは透かしの種類 (**テキスト、イメージ / PDF、複合**) を選択します。これは、次に表示されるオプションを決定します。

- ・ **テキスト** 表示するテキストを入力し、フォント、サイズ、色、スタイルと表示角度 (-90 度から 90 度) などのテキストのプロパティを調整します。[アウトラインのみ] を選択すると、透かし文字がアウトラインで表示されます。選択解除した場合、定義された不透明度で文字を塗りつぶします。テキストの基準点を選択し、垂直と水平オフセット (X と Y の余白) を調整します。

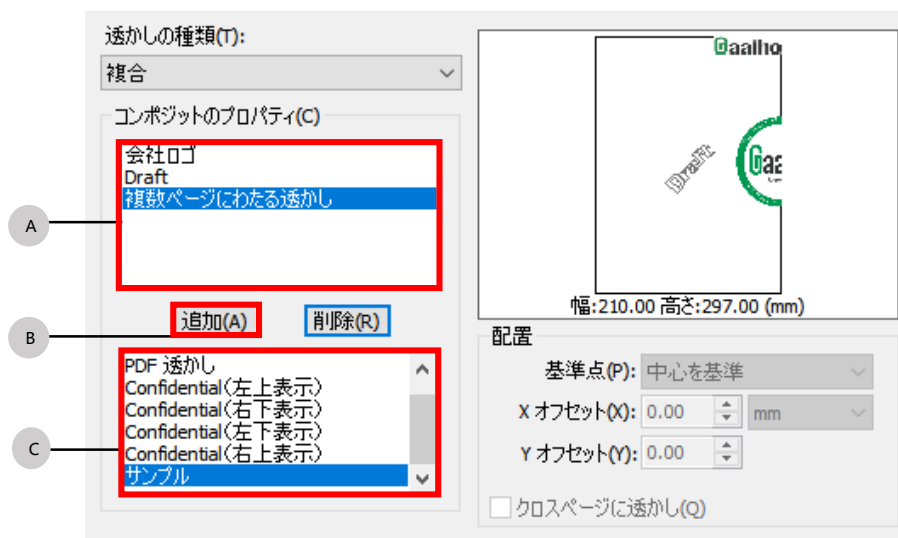


[アウトラインのみ] 選択解除 (左)      [アウトラインのみ] を選択 (右)

- ・ **イメージ / PDF** イメージ ファイル (JPG、PNG、BMP、TIFF、Photoshop、Zsoft PCX、Targa または Windows Metafiles) または PDF ファイルを参照します。複数ページのファイルを選択した場合は、透かしとして使用するページを指定します。[マークされたエリアのみ] オプションは、PDF ファイルのみに関連します。これを選択すると、PDF ページの境界ボックス領域のみが透かしとして使用されます。境界ボックス領域は、ページ上のすべてのテキスト、グラフィック、およびイメージを囲む長方形です。この設定の選択を解除すると、PDF ページ全体が透かしとして使用されます。[縦横比を維持] オ

プションは、透かしの長さや幅の比率を固定します。[ページ全体をカバー] の選択を解除すると、イメージのサイズと位置を定義できます。それ以外の場合、イメージは PDF のページ全体をカバーします。

- ・ **複合** 既存の透かしを使用して複合透かしを作成します。使用可能なすべての透かしは、下のボックス (A) に表示されます。必要な透かしを選択し、[追加] (B) をクリックして、上の透かしリストに追加します。[コンポーネントのプロパティ] ボックス (C) に表示されている透かしは、複合透かしに使用されます。



**配置** [クロスページに透かし] は、透かしを 2 つの連続するページに分割して表示します。このオプションを選択すると、配置オプションが変更されます。綴じ方を選択して、隙間と位置 (既定値は 0) を設定します。見開きページに透かしが表示されるようにするには、[両面] を選択します。透かしの種類として [複合] を選択すると、[クロスページに透かし] オプションは無効になります。



[クロスページに透かし] を選択解除 (左)    [クロスページに透かし] を選択(右)

## MS Word 変換設定

PDF タグを作成したり、結果 PDF にメタデータを埋め込んだり、しおりを作成したり、Word のコメントとリンクを PDF のコメントとリンクに変換することができます。

**結果ファイルにメタデータを埋め込む、結果ファイルにしおりを作成、Word ファイルのコメントを結果ファイルのコメントにする、Word のテキスト ボックス リンクを PDF のアークティックに変換する** オプションを選択すると、新しく作成された PDF ドキュメントに対応する変換が行われます。

### Word リンクの変換

脚注と文末脚注、ドキュメント間のリンク、インターネットリンクおよび相互参照リンクを含むほぼすべての Word ドキュメントのリンクを PDF のリンクに変換できます。

- **脚注と文末脚注のリンク**

このオプションを選択すると、Word の脚注と文末脚注のリンクを PDF のリンクに変換します。脚注は注を含むページの下部に表示されます。文末脚注はセクションまたはドキュメントの最後に表示されます。

- **ドキュメント間のリンク**

ドキュメント間のリンクは、他 Word ドキュメントにアクセスできます。このオプションを選択すると、Word のドキュメント間のリンクを複数のドキュメントのインデックス ディレクトリを含む PDF のリンクに変換します。

- **インターネットリンク**

このオプションを選択すると、すべてのインターネット URL アドレスを自動的に PDF リンクに変換します。インターネット アドレスには、HTTP、HTTPS と WWW アドレスが含まれます。リンク テキストと元になる URL アドレスが変換されます。

- **相互参照のリンク**

相互参照リンクは、現在ドキュメント内の特定の位置を指すリンクです。このオプションを選択すると、Word の相互参照リンクを PDF リンクに変換します。このオプションを選択解除すると、リンク テキストの書式は維持されますが、アクティブなハイパーリンクはありません。

### タグ

PDF タグを作成するには、**[PDF タグを作成]** チェックボックスを選択し、必要に応じて **[テキストボックスからタグを作成]**、**[図形からタグを作成]**、**[インライン図形からタグを作成]** オプ

ションを選択します。インライン図形は、テキスト ボックス内の図形です。[OK] をクリックして設定を完了するか、[キャンセル] をクリックして設定をキャンセルします。

## ドキュメント設定

結果 PDF の表示方法 (例: 初期ページとして表示するページ) を設定します。また、タイトル、作成者、サブジェクト、キーワードまたは[カスタム フィールド](#)などのドキュメント情報を追加して、カテゴリ別に PDF ドキュメントを簡単に検索することができます。

### [ドキュメント設定] ダイアログ ボックスへのアクセス方法

#### Gaiho PDF 仮想プリンターから

1. Windows の [デバイスとプリンター] から [Gaiho PDF] を右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。
2. **[PDF 設定]** タブに移動します。
3. **[ドキュメント設定]** チェックボックスを選択し、**[編集...]** をクリックします。

#### Gaiho PDF Server クライアントから

1. Gaiho PDF Server クライアントを起動して、**[変換設定]** をクリックします。
2. **[変換設定]** ダイアログ ボックスで、**[ドキュメント設定]** チェックボックスを選択し、**[編集...]** をクリックします。

### [ドキュメント設定] ダイアログ ボックスで実行できる操作

- [オープンオプション](#)を調整して、ドキュメントを開いたときの表示方法を決定します。
- タイトル、作成者、件名、キーワードなどのドキュメント情報をドキュメントのメタデータに定義し、[カスタム定義フィールド](#)を追加します。

**オープンオプション** ウィンドウとパネルの外観を設定します。ドキュメントを表示する時にウィンドウまたはパネルを表示または非表示することができます。

## ドキュメント

**ナビゲーション パネル** PDF ドキュメントを開いたときに、表示するナビゲーション パネルを指定します。ナビゲーション パネルの表示には、[なし]、[しおり]、[サムネイル] 3つのオプションがあります。

**ページ レイアウト** PDF ドキュメントを最初に開いたときの、スクロール用のページ レイアウトを設定します。

- ・ **単一ページ** ドキュメント ウィンドウに 1 度に 1 ページだけを表示します。
- ・ **連続ページ** ページを縦に続けて表示します。
- ・ **見開き** ドキュメント ウィンドウに 1 度に 2 ページを横に並べて表示します。
- ・ **連続見開き** 2つのページを横に並べ、縦に続けて表示します。
- ・ **見開き (表紙)** 最初のページ (表紙) を除く、一度に 2 ページずつ並べて表示します。表紙として最初のページは 1 ページで表示されます。
- ・ **連続見開き (表紙)** 最初のページ (表紙) を除く、2つのページを横に並べ、縦に続けて表示します。最初のページは、並べて表示されたページの右側に配置されます。

**拡大** ドキュメントを最初に開いたときに使用する表示倍率を指定します。

**初期ページを表示** ドキュメントを開いたときに表示されるページを指定します。通常は 1 ページに設定されます。

## ウィンドウ

- ・ **ウィンドウ** ユーザーがドキュメントを開いたときにウィンドウの表示が画面内でどのように調整されるかを指定します。[**イニシャル ページにウィンドウサイズを合わせる**]、[**画面中央に配置**]、[**全画面表示で開く**] オプションがあります。
- ・ **ページタイトルを表示** 新しいファイル名に関係なく、ウィンドウのタイトルバーにソース ファイルの元のタイトルが表示されます。

**非表示** インターフェスのどの部分 (メニュー バー、ツール バー、またはウィンドウ コントロール) を非表示にするかを指定します。

**ドキュメント情報** このオプションを利用して、タイトル、作成者、サブジェクト、キーワードなどのドキュメントのメタデータを編集できます。また、ドキュメントにカスタム定義フィールドを追加して、Gaiho Doc のようなソフトウェアで特定のドキュメントをすばやく検索できるようにすることもできます。詳細については、[カスタム 定義フィールド](#)を参照してください。

**Web 表示に最適化** Web 上の PDF ドキュメントの表示スピードを向上させます。

## カスタム定義フィールド

タイトル、作成者、サブジェクトなどの標準フィールドの範囲を超えた追加情報が含まれているカスタム定義フィールドを含むドキュメントでのみ、指定された語句の全文検索を実行すると、PDF ドキュメントをすばやく検索できます。作成できるカスタム フィールドの数に制限はありません。

### カスタム定義フィールドを追加

1. [ドキュメント設定] ダイアログ ボックスで、[ドキュメント情報] タブをクリックします。
2. [カスタム] で、[名前] ボックスにフィールド名を入力して、[追加] をクリックします。
3. [値] ボックスにフィールド値を入力して、[追加] をクリックします。
4. 新しく作成したフィールドが値とともにダイアログ ボックスの一番下のボックスに表示されます。[OK] をクリックします。

### カスタム定義フィールドを削除

1. すべてのカスタム定義フィールドが一覧表示されているボックスで、削除するフィールドを選択します。
2. [削除] をクリックします。

### カスタム定義フィールドを変更

1. カスタム定義フィールドが一覧表示されているボックスで、フィールド値を変更する行を選択します。
2. [値] ボックスに新しい値を入力します。
3. [変更] ボタンをクリックします。選択した行に新しい値が表示されます。

## 保存設定

### 保存先を指定

保存設定では、生成された PDF ファイルの保存先を設定します。結果ファイルをソース フォルダーまたは指定したフォルダーに保存、電子メールの添付ファイルとして送信、または DMS に保存することができます。

[**ファイル名を照会**] を選択すると、PDF が生成される度にファイル名を要求するプロンプトが表示されます。

1. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、保存先設定ボックスの右にある [編集] ボタンをクリックします。または Windows タスク バーの通知領域にある PDF Server Client アイコンを右クリックし、[保存設定を編集] を選択します。

2. **[保存設定]** ダイアログ ボックスの **[ターゲット]** ドロップダウン メニューから保存場所を選択します。
  - ・ **ファイル名を照会 (既定)** PDF が作成される度にファイル名の指定を要求するメッセージが表示されます。
  - ・ **ソース フォルダに結果を保存** 生成された PDF は、ソース ファイルのフォルダーに保存されます。
  - ・ **指定したフォルダに結果を保存** 生成された PDF は、指定したフォルダーに保存されます。**[フォルダ]** フィールドの右にある **[参照]** をクリックし、結果 PDF の保存先を指定します。
  - ・ **電子メールの添付ファイルとして結果を送信** 生成された PDF は保存されず、デフォルトの電子メール アプリケーションで開かれた新しい電子メールに添付されます。このオプションが選択されている場合、**[電子メールとして送信]** オプションは無効になります。必要に応じて、**[結果の PDF を表示]** を選択して変換後に結果 PDF を表示します。
  - ・ **DMS に保存** SharePoint などのドキュメント管理システムにファイルを保存します。

## フォルダー

このフィールドは、**[ターゲット]** フィールドで **[指定したフォルダに結果を保存]** が選択されている場合にのみ使用可能です。**[参照]** をクリックして、結果の PDF を保存する場所を指定します。

## ファイルが存在する場合

指定した保存場所に既に同じファイル名のファイルがすでに存在する場合の処理を定義することができます。既定の設定では、**[ファイル名を照会]** です。同じファイル名のファイルが存在する場合、ファイル名を変更するよう求められます。

1. **[Gaiho PDF Server クライアント]** ダイアログ ボックスで、保存先設定ボックスの右にある **[編集]** ボタンをクリックします。
2. **[保存設定]** ダイアログ ボックスの **[ターゲット]** ドロップダウン メニューから保存場所を選択します。
3. **[ファイルが存在する場合]** ドロップダウン メニューから次のいずれかを選択します。
  - ・ **ファイル名を照会 (既定)** 指定したパスに同じ名前のファイルがすでに存在する場合は、そのファイルを置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  - ・ **既存のファイルと置き換える** 同じ名前の既存ファイルが結果 PDF に置換えられます。
  - ・ **自動的に結果ファイルの名前を変更** 同じ名前のファイルが存在する場合、結果 PDF の

名前は自動的に変更されます。新しいファイルは、結果ファイルの名前に連続番号が付けられます (例: ドキュメント\_1、ドキュメント\_2)。

**電子メールとして送信** 結果 PDF はデフォルトの電子メールクライアントによって電子メールの添付ファイルとして送信される同時に、指定した場所に保存されます。

**結果の PDF を表示** 結果 PDF が作成された後自動的に表示されます。

## 第三章 ウォッチ フォルダー

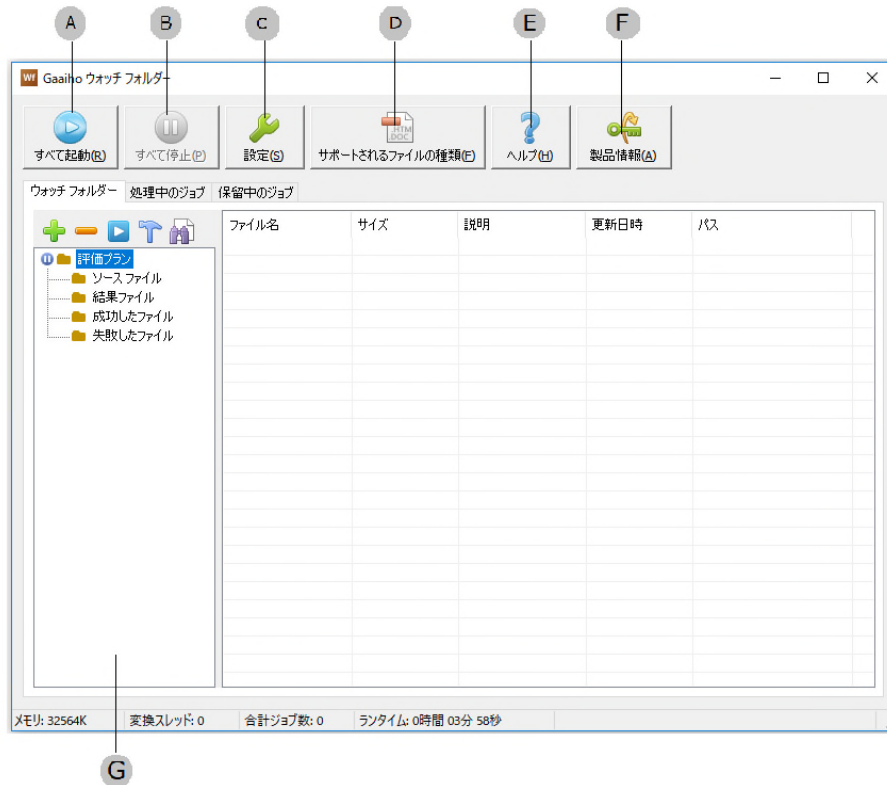
PDFCMD の Create API に基づいて開発されたウォッチ フォルダーは、クライアント / コンソール モード以外のもう 1 つのソリューションです。ウォッチ フォルダー内のファイルは自動的に PDF に変換されます。各ウォッチ フォルダーはそれぞれ独自の変換設定を適用することができます。ウォッチ フォルダー アプリケーションは、サーバー マシンにインストールされます。ユーザーはリモート ログインして使用する必要があります。







[ウォッチ フォルダーの概要](#)

[ウォッチ フォルダーの管理](#)

[ウォッチ フォルダーの設定](#)



## ウォッチ フォルダーの概要

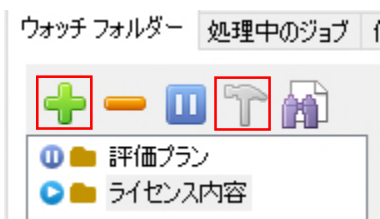


- ・ **すべて起動**  (A) すべてのウォッチ フォルダを起動します。
- ・ **すべて停止**  (B) すべてのウォッチ フォルダを停止します。
- ・ **設定**  (C) [設定] ダイアログ ボックスを表示し、変換設定やログ ファイルの設定などを編集できます。  
 詳細については、[ウォッチ フォルダの設定](#)を参照してください。
- ・ **サポートされているファイルの種類**  (D) サーバーから PDF に変換可能なファイル種類を一覧表示します。
- ・ **ヘルプ**  (E) ユーザーマニュアルのリンクを含む Web ページを表示します。
- ・ **製品情報**  (F) [Gaiho ライセンス情報] ウィンドウを表示し、ライセンスの詳細の表示、プログラムのアクティブ化/非アクティブ化、およびログ ファイルへのアクセスを行うことができます。
- ・ (G) パネルには、すべてのウォッチ フォルダが表示されます。各ウォッチ フォルダの起動状態は、フォルダの左にある青いアイコンで確認できます。

## ウォッチ フォルダーの管理

### ウォッチ フォルダーの追加と構成

[ウォッチ フォルダー] タブで [追加...]  ボタンをクリックするか、既存のウォッチ フォルダーを選択して [構成...]  をクリックします。ウォッチを開始されたウォッチ フォルダーを構成することはできません。[ウォッチ フォルダーを構成] ダイアログ ボックスでは、フォルダーのタイトル、ソース フォルダー、工程スケジュール、結果ファイルの名前付け方法、およびサブ フォルダーを監視するかどうかを指定できます。



### 全般

**タイトル** ウォッチ フォルダーのタイトルを入力します。

**ソース** ソース フォルダーのパス名です。ソース フォルダー内のファイルは、自動的に PDF に変換されます。

**結果、成功、エラー** [ソース] フォルダーを指定すると、[結果]、[成功]、[エラー] フォルダーが、[ソース] フォルダーのサブ フォルダーとして自動的に作成されます。[参照] ボタンをクリックして、各フォルダーの場所を調整します。

- ・ **結果** 作成されたすべての PDF を保存します。
- ・ **成功** 正常に処理されたソース ファイルを保存します。
- ・ **エラー** 正常に処理できなかったソース ファイルを保存します。

**オプション (変換プロファイル)** ドロップダウン メニューから変換設プロファイルを選択します。**デフォルト、低画質サンプル、セキュリティ サンプル、高画質サンプル、すかしサンプル** 5 つのデフォルト オプションがあります。[設定] で新しいプロファイルを追加したり、既存のプロファイルを編集することができます。

**サブフォルダを監視する** このオプションを選択すると、ソース フォルダーのすべてのサブフォルダも処理されます。つまり、サブフォルダ内のファイルも自動的に PDF に変換されます。

**注意:** すべてのフォルダーに読み書き権限があり、ウォッチフォルダーにファイルを移動するユーザー(ネットワーククライアントを含め)がアクセスできる必要があります。

## 詳細設定

[ウォッチフォルダーを構成] ダイアログボックスの [詳細設定] タブで次の設定を調整します。

**ジョブが完了した時にソースファイルを削除する** PDF作成が完了した後、ソースファイルを [成功] フォルダーに移動するのではなく、削除します。

**工程スケジュール** ウォッチフォルダーの工程スケジュールを設定します。変換サービスは、指定された開始時刻と停止時刻 (毎日) の間でのみ実行します。この設定は [すべて停止] 機能に優先しません。

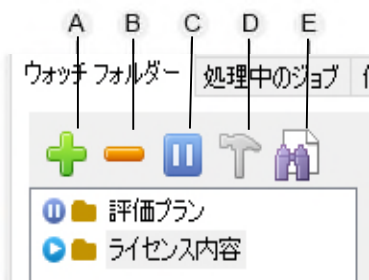
**結果ファイルの名前を付ける** 結果 PDF のファイル名に接頭辞、サフィックスまたは両方を追加します。接頭辞はファイル名の先頭に、サフィックスはファイル名の末尾に表示されます。例えば、「ドキュメント」という名前のファイルに、接頭詞を「001」、サフィックスを「空」に設定した場合、ファイル名は [001\_ドキュメント\_空] になります。


**ファイルが存在している場合** 新しく作成したファイルの名前を自動的に変更するか、すべてのフォルダー (結果、成功、エラー) の既存のファイルを置き換えるかを設定します。



## ウォッチフォルダー パネル





### ウォッチフォルダー



[ウォッチフォルダー] パネルで作成したウォッチフォルダーを管理できます。左側には、追加されたすべてのフォルダーのリストが表示されます。各フォルダーをクリックすると、右側のキューにその内容が表示されます。




**追加...**  (A) 新しいウォッチ フォルダーを作成し、[ウォッチ フォルダーを構成] ダイアログボックスで構成します。

**削除**  (B) 選択したウォッチ フォルダーをリストから削除します。フォルダーを選択し、[削除] アイコン  をクリックします。フォルダーを削除する前に、そのフォルダー内のすべてのファイルの処理が完了していることを確認してください。

**ウォッチを開始**  / **ウォッチを停止**  (C) リストから一時停止されたウォッチ フォルダーを選択し、[ウォッチを開始] アイコン  をクリックしてウォッチを再開するか、ウォッチ中のウォッチ フォルダーを選択し、[ウォッチを停止] アイコン  をクリックしてウォッチを停止します。

**構成...**  (D) 一時停止されているウォッチ フォルダーを選択し、[構成...] アイコン  をクリックして設定を調整します。開始されたウォッチ フォルダーは設定できないため、設定を変更するには、フォルダーのウォッチを一時停止する必要があります。

**ログ...**  (E) ログ ファイル フォルダーを開きます。各ログ ファイルの名前は、ウォッチ フォルダーの作成ときに入力したタイトルの名前になります。

## 処理中および保留中のジョブ キュー

[処理中のジョブ] と [保留中のジョブ] パネルで、PDF 変換の進行状況を確認できます。

**処理中のジョブ** 現在処理中のすべてのジョブが一覧表示されます。

**保留中のジョブ** すべての保留中のジョブが一覧表示されます。リスト内でジョブを選択し、[上へ]、[下へ]、[一番上へ移動]、[一番下へ移動] ボタンを使用してジョブの順序を変更できます。

## ウォッチ フォルダーの設定

**Windows 起動時に自動で実行** Windows を起動時にウォッチ フォルダーが自動的に実行されます。

**許可\_\_同時ジョブ** ウォッチ フォルダーが同時に処理できるジョブの数を制限します。

**変換設定を編集** クリックすると、変換設定を追加または編集できます。詳細については、[クライアント変換設定](#)を参照してください。また、新しいウォッチ フォルダーを追加するときや既存のフォルダーを構成するときに、各フォルダーに適用する変換プロファイルを設定することもできます。

**新しいファイルの作成** ログ ファイルを作成する頻度を設定します。毎日、またはファイル サイズが設定したサイズに達したときに新しいログ ファイルを作成するように設定できます。[ファイル サイズが] を選択した場合は、フィールドにログ ファイルのサイズを入力する必要があります。

**ログ ファイル フォルダー** ログ ファイルを保存する場所を設定します。

## 第四章 ファイルを PDF に変換

### [PDF Server Client での PDF の作成](#)

### [ウォッチ フォルダーでの PDF の作成](#)

### [Gaiiho PDF プリンターでの PDF の作成](#)

Gaiiho PDF Server を使用してファイルを PDF に変換するには、次の方法があります。

- PDF Server Client を使用してファイルを PDF に変換
- ウォッチ フォルダーを使用してファイルを PDF に変換
- Gaiiho PDF プリンターを使用してファイルを PDF に印刷

クライアントが動作するためにはサーバーに接続する必要があり、ウォッチ フォルダーは、サーバー マシン上で実行するように設計されたプログラムで、ファイルがウォッチ フォルダー内のソース フォルダーに置かれるたびに自動的に変換を開始します。詳細については、[ウォッチ フォルダーでの PDF の作成](#)を参照してください。

Gaiiho PDF プリンターは、PDF Server がファイルを PDF に変換する仮想プリンターであり、PDF Server Console がインストールされているマシン上でのみ使用できます。詳細については、[Gaiiho PDF プリンターでの PDF の作成](#)を参照してください。

ほかにも、Gaiiho アドインの使用、Gaiiho PDF として保存、Microsoft Office でのエクスポート、または Outlook アドインなど、ファイルを PDF に変換するさまざまな方法があります。

## PDF Server Client での PDF の作成

Gaiiho Server Client を使用して、サポートされているさまざまなファイル種類から PDF を作成できます。これは、大量のファイルを PDF に変換する場合に特に便利です。サポートされているファイルの種類を確認するには、サーバー マシンにインストールされている Gaiiho PDF Server コンソール ウィンドウのリストを参照してください。

ファイル変換を開始する前に、(1) PDF Server Console が起動されていること、(2) クライアント コンピューターがサーバーに接続されていること ([サーバーに接続](#) をご参照)を確認してください。クライアントの他の変換方法および変換設定については、[クライアントの変換設定](#)を参照してください。

### ファイルを PDF ドキュメントに変換

ファイルを PDF に変換、複数のファイルを結合またはオーバーレイ、または複数のファイルを 1つの PDF ポートフォリオにパッケージ化することができます。

#### 単一ファイルを単一 PDF ドキュメントに変換


ソース ファイルごとに個別の PDF を作成できます。

1. [Gaiiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、変換するファイルをリストに追加します。[追加] をクリックして、メニューから [ファイルを開く...] または [DMS から開く...] を選択し、変換するファイルを参照して選択します。または、直接ファイルをリストにドラッグすることもできます。
2. 必要に応じて、次の操作を実行して、選択したファイルの削除、すべて削除、またはファイルの順序を変更します。

**削除** 選択したファイルをファイル リストから削除します。1つのファイルをクリックするか、Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択し、[削除] をクリックします。

**上へ / 下へ** リスト内のファイルの順序を調整します。1つのファイルをクリックするか、Ctrl キーを押しながらクリックして複数のファイルを選択し、[上へ] または [下へ] をクリックして順序を調整します。

**クリア** リストからすべてのファイルを削除します。


3. 変換方法ドロップダウン メニューから **[単一ファイルを単一 PDF ドキュメントに変換]** を選択します。
4. 必要に応じて、変換プロフィールを選択して、保存設定を編集します。
5. [変換] ボタン  をクリックします。

6. 保存設定で [ファイル名を参照 (デフォルト)] を選択した場合は、結果 PDF の保存先と名前を指定して、[保存] をクリックします。

## 複数のファイルを 1 つの PDF ドキュメントに結合

Gaiho PDF Server クライアントは、サポートされている各種形式の複数のファイルを 1 つの PDF ドキュメントに結合することができます。ページ順序は、ファイルがクライアント ウィンドウのファイル リストに配置された順序を反映します。結合とパッケージの違いは、結合は各ファイルをページ単位で接続して大きなドキュメントを作成するのに対し、パッケージは各ファイルを互いに独立させて保持します。

**注意:** この機能は、PDF Server Client のファイル リストに 2 つ以上のファイルがある場合にのみ使用できます。


1. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、2 つ以上のファイルをファイル リストに追加します。[追加] をクリックし、メニューから [ファイルを開く] または [DMS から開く...] を選択し、変換するファイルを参照して選択します。または、直接ファイルをリストにドラッグすることもできます。
2. [上へ] と [下へ] ボタンを使用して、ファイルの順序を調整します。
3. 変換方法ドロップダウン メニューから **[ファイルを単一の PDF ドキュメントに結合]** を選択します。
4. [オプション] をクリックして、ファイル名をしおりとして追加するかを指定します。
5. 必要に応じて、変換プロフィールを選択して、保存設定を編集します。
6. [変換] ボタン  をクリックします。
7. 保存設定で [ファイル名を参照 (デフォルト)] を選択した場合は、結果 PDF の保存先と名前を指定して、[保存] をクリックします。

## 複数のファイルを 1 つの PDF ポートフォリオにパッケージ化

複数のファイルを PDF に変換し、1 つの PDF ポートフォリオにパッケージ化します。PDF パッケージ内の各ファイルは 1 つの PDF ドキュメントに結合されるのではなく、別々に保持されます。

1. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、2 つ以上のファイルをファイル リストに追加します。[追加] をクリックし、メニューから [ファイルを開く] または [DMS

から開く...] を選択し、変換するファイルを参照して選択します。または、直接ファイルリストにドラッグすることもできます。

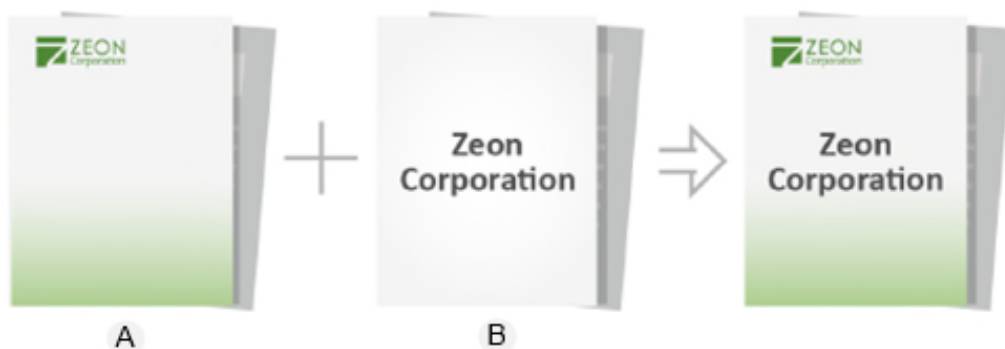
2. [上へ] と [下へ] ボタンを使用して、ファイルの順序を調整します。
3. 変換方法ドロップダウンメニューから **[複数のファイルから PDF パッケージを作成]** を選択します。
4. [オプション] をクリックして、[表紙] ダイアログボックスを開き、パッケージの表紙を設定します。表紙は、PDF を最初に開いたときに表示されるページです。  
**既定のテンプレートを使用** PDF パッケージ機能の説明が記載されている既定の Gaiho テンプレートを PDF パッケージの表示として使用します。  
**最初のファイルを使用** ファイルリスト内の最初のファイルを PDF パッケージの表紙として使用します。
5. 必要に応じて、変換プロフィールを選択して、保存設定を編集します。
6. [変換] ボタン  をクリックします。
7. 保存設定で [ファイル名を参照 (デフォルト)] を選択した場合は、結果 PDF の保存先と名前を指定して、[保存] をクリックします。


## ファイルを単一 PDF ドキュメントにオーバーレイ

2 つ以上のファイルの内容を 1 つの PDF ドキュメントとしてオーバーレイします。例えば、ロゴイメージとドキュメントをオーバーレイして、出力 PDF のすべてのページの指定された位置にロゴを配置することができます。ファイルのオーバーレイは、PDF Server Client のファイルリストに 2 つ以上のファイルが存在する場合にのみ使用できます。下記の例を参照してください。

### 例 1

ドキュメントをオーバーレイして表紙を作成



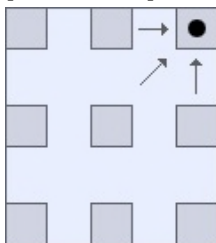
1. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、[追加] をクリックし、メニューから [ファイルを開く...] または [DMS から開く...] を選択します。PDF に変換してオーバーレイするファイルを参照して選択し、[開く] をクリックします。または、直接ファイルをリストにドラッグすることもできます。表紙の画像要素を含む単一ページのファイル (A) と、最初のページに表紙のテキストが含まれている複数ページのファイル (B) が必要です。
2. 変換方法ドロップダウン メニューから **[ファイルを単一 PDF ドキュメントにオーバーレイ]** を選択します。
3. 選択したイメージを目的の位置に配置するには、[オプション] をクリックし、[オーバーレイ設定] ダイアログ ボックスでオーバーレイの位置を指定します。ページの中央が選択されていることを確認し、**[短いドキュメントの最後のページを繰り返しオーバーレイする]** チェックボックスをオフにして、[OK] をクリックします。
4. 必要に応じて、変換プロフィールを選択して、保存設定を編集します。
5. [変換] ボタン  をクリックします。
6. 保存設定で [ファイル名を参照 (デフォルト)] を選択した場合は、結果 PDF の保存先と名前を指定して、[保存] をクリックします。


2つの別々のファイルに2つの画像要素がある場合、3つのファイルをオーバーレイすることによって同じ結果を得ることができます。画像要素は、結果 PDF に表示される位置にソース ファイルに配置する必要があります。

## 例 2


ドキュメントのすべてのページにロゴを表示

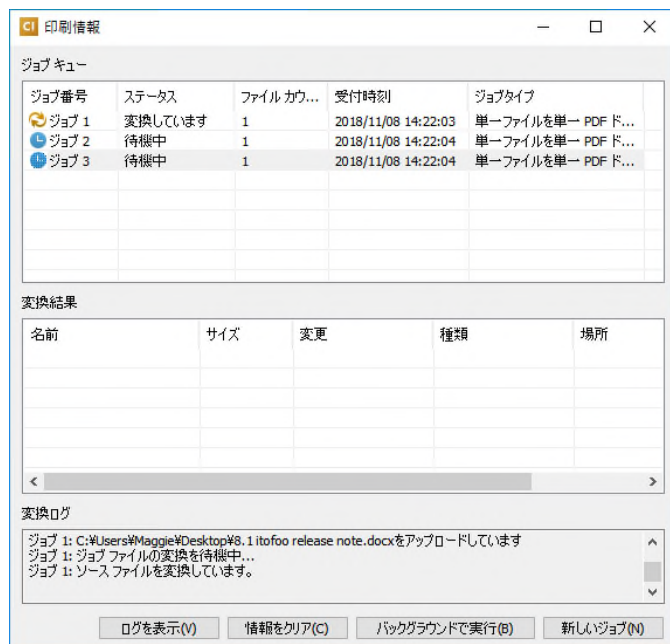
1. [Gaiho PDF Server クライアント] ダイアログ ボックスで、[追加] をクリックし、メニューから [ファイルを開く...] または [DMS から開く...] を選択します。PDF に変換してにオーバーレイするファイルを参照して選択し、[開く] をクリックします。または、直接ファイルをリストにドラッグすることもできます。イメージまたはロゴを含む他のファイルが必要です。
2. 変換方法ドロップダウン メニューから **[ファイルを単一 PDF ドキュメントにオーバーレイ]** を選択します。
3. [オプション] をクリックして、オーバーレイの位置を指定します(例: ページの右上端)。



4. [短いドキュメントの最後のページを繰り返しオーバーレイする] チェックボックスをオンにします。
5. 必要に応じて、変換プロフィールを選択して、保存設定を編集します。
6. [変換] ボタン  をクリックします。
7. 保存設定で [ファイル名を参照 (デフォルト)] を選択した場合は、結果 PDF の保存先と名前を指定して、[保存] をクリックします。
8. 結果 PDF のすべてのページの右上端にロゴが表示されます。

## 変換状態と結果を表示

[印刷情報] ウィンドウには、ジョブの状態と変換結果に関する情報が表示されます。PDF Server Client から PDF 変換ジョブが開始されると自動的に[印刷情報] ウィンドウが表示されます。非表示になった [印刷情報] ウィンドウを表示するには、Windows 通知領域の PDF Server Client アイコン  を右クリックし、[ジョブ情報を表示] を選択します。



## ジョブキュー

ジョブキューには、ジョブ番号、ステータス、ファイルカウント、受付時刻およびジョブタイプが表示されます。ジョブの上にカーソルを置くと、ジョブに含まれる各ファイルの名前が表示されます。キューを右クリックし、それに応じたオプションを選択して、選択したジョブを削除したり、ジョブの順序を変更したり、リストからすべてのジョブを削除することができます。

## 変換結果

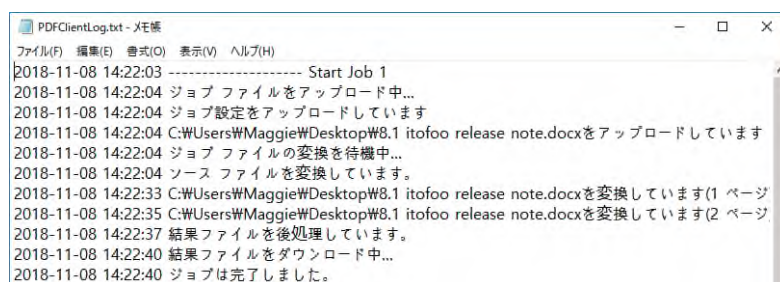
変換結果セクションには、ファイル名、ファイルサイズ、変更時刻、ファイル種類と保存場所などの結果 PDF ファイルの情報が表示されます。

## 変換ログ

変換プロセスのステータスが通知されます。

## ログを表示

.txt ログ ファイルは、PDF Server が処理したすべての変換の履歴レコードです。既定のファイル名は、PDFClientLog です。




```
PDFClientLog.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
2018-11-08 14:22:03 ----- Start Job 1
2018-11-08 14:22:04 ジョブ ファイルをアップロード中...
2018-11-08 14:22:04 ジョブ設定をアップロードしています
2018-11-08 14:22:04 C:\Users\Maggie\Desktop\W8.1 itofoo release note.docxをアップロードしています
2018-11-08 14:22:04 ジョブ ファイルの変換を待機中...
2018-11-08 14:22:04 ソース ファイルを変換しています。
2018-11-08 14:22:33 C:\Users\Maggie\Desktop\W8.1 itofoo release note.docxを変換しています(1 ページ
2018-11-08 14:22:35 C:\Users\Maggie\Desktop\W8.1 itofoo release note.docxを変換しています(2 ページ
2018-11-08 14:22:37 結果ファイルを後処理しています。
2018-11-08 14:22:40 結果ファイルをダウンロード中...
2018-11-08 14:22:40 ジョブは完了しました。
```

## 情報をクリア

[情報をクリア] ボタンをクリックすると、[変換ログ] ボックスをクリアします。

## バックグラウンドで実行

[バックグラウンドで実行] ボタンをクリックすると、変換中に [印刷情報] ウィンドウが非表示になります。このボタンは、ジョブ キューに変換ジョブがない場合は無効になります。

**注意:** [印刷情報] ウィンドウを再度表示するには、Windows 通知領域の PDF Server Client アイコン  を右クリックし、[ジョブ情報を表示] を選択します。

## 新しいジョブ

[新しいジョブ] ボタンをクリックすると、[印刷情報] ウィンドウが閉じ、[Gaiho PDF Server クライアント] ウィンドウに戻ります。

## 電子メールの添付ファイルとして結果を送信

なお、結果ファイルを保存するかを問わず、結果 PDF を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

### 結果 PDF を保存して電子メールの添付ファイルとして送信

1. **[保存設定]** ダイアログ ボックスを開きます。
2. [ターゲット] ドロップダウン メニューから **[ファイル名を照会]**、**[ソース フォルダに結果を保存]** または **[指定したフォルダに結果を保存]** のいずれかのオプションを選択します。
3. [電子メールとして送信] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

### 結果 PDF を保存せずに電子メールの添付ファイルとして送信

1. **保存設定** ダイアログを開きます。
2. [ターゲット] ドロップダウン メニューから **[電子メールの添付ファイルとして結果を送信]** を選択します。結果 PDF はコンピューターに保存されません。


現在のジョブで作成されたすべての PDF ファイルは、空白の電子メールに添付されます。宛先、件名などを追加することができます。

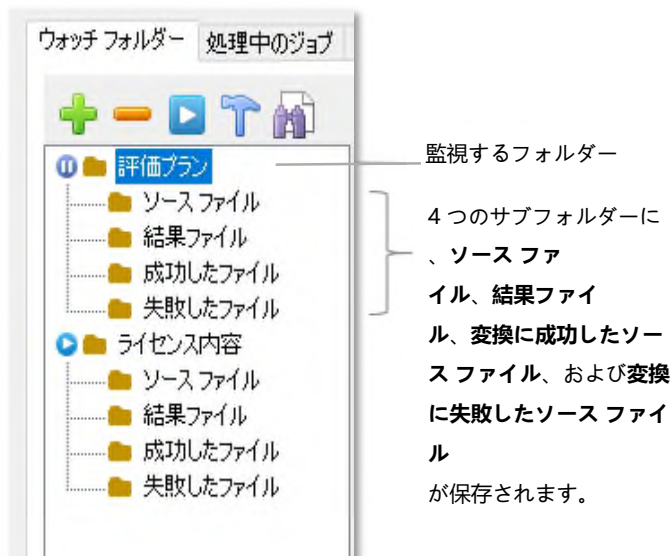
## ウォッチ フォルダーでの PDF の作成

ウォッチ フォルダーのウォッチを開始すると、ソース フォルダー (ウォッチ フォルダーの作成ときに指定) 内のすべてのファイルは自動的に PDF に変換されます。オプションとして、Windows 起動時自動的に変換作業が実行されるようにウォッチ フォルダーを設定することができます。Gaiho PDF Server に接続可能の限り、ソース フォルダーはどのコンピューター上でも配置できます。

### ウォッチ フォルダーを追加

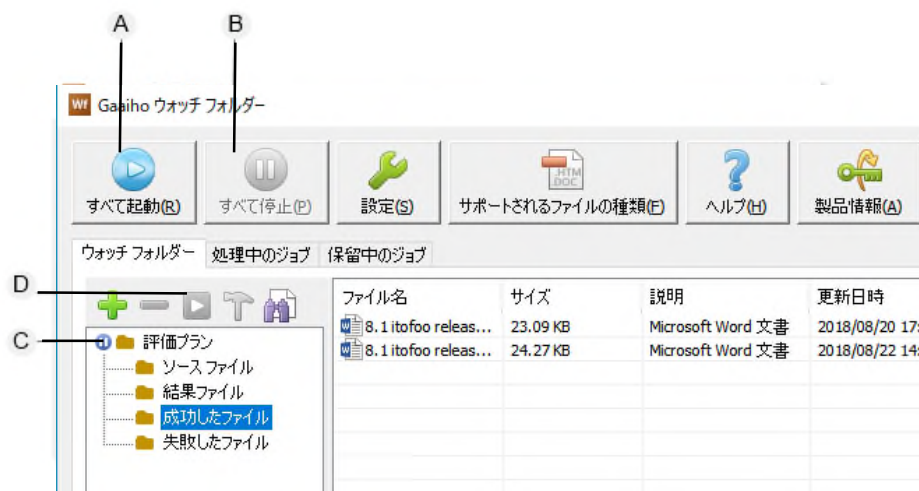
指定したフォルダーで PDF 変換を実行する前に、ウォッチが開始されたら、フォルダー内のすべてのファイルが自動的に PDF に変換できるように、ウォッチ フォルダーを構成する必要があります。

1. [Gaiho ウォッチ フォルダー] ウィンドウの [ウォッチ フォルダー] タブで、[追加...]  をクリックします。
2. [ウォッチ フォルダーを構成] ダイアログ ボックスの [全般] タブで、ウォッチ フォルダーのタイトルを入力し、ウォッチするフォルダーを設定し、サブ フォルダーを監視するかどうかを設定して、新しいフォルダーを構成します。[詳細設定] タブで、工程スケジュール、結果ファイルの命名方法、および同じファイル名のファイルが存在している場合のシステムの動作を設定します。詳細については、[ウォッチ フォルダーの管理](#)を参照してください。
3. [OK] をクリックします。
4. 作成したすべてのフォルダーが [ウォッチ フォルダー] パネルに一覧表示されます。各フォルダーには、ソース ファイル、結果ファイル、成功したファイルと失敗したファイルの 4 つのサブ フォルダーがあります。ウォッチ フォルダーのタイトルをダブルクリックして、そのフォルダーを折りたたんだり、展開したりできます。



## ウォッチ フォルダーを実行

手で [すべて起動] をクリックしてすべてのウォッチ フォルダーの変換を開始するか、Windows 起動時自動的に実行されるように設定できます。



- 変換するファイルをソース フォルダーに置き、次のいずれかの操作を実行します。
  - [すべて起動] (A) をクリックして、ウォッチ フォルダー パネル内のすべてのフォルダーをウォッチ開始します。フォルダー内のすべてのファイルは指定した変換設定で変換されます。すべてのフォルダーの変換を停止するには、[すべて停止] (B) をクリックします。
  - [ウォッチ フォルダー] パネルで、停止している (C) フォルダーをクリックして、[ウォッチを開始] (D) をクリックします。フォルダーのウォッチを停止するには、[ウォッチを一時停止] (H) をクリックします。

2. [ソース ファイル] をダブルクリックするか、そのウォッチ フォルダがリンクされているソース フォルダを直接開いて、成功したファイル、結果ファイル、および失敗したファイルを確認できます。
  - ・ **結果ファイル**は、結果 PDF ファイルが保存されている **\_Result** フォルダを開きます。
  - ・ **成功したファイル**は、正常に PDF に変換されたソース ファイルが保存されている **\_Success** フォルダを開きます。
  - ・ **失敗したファイル**は、変換に失敗したソース ファイルが保存されている **\_Error** フォルダを開きます。これらのファイルの変換は失敗したため、**\_Success** フォルダにまたは **\_Result** フォルダに移動されません。

## Gaiiho PDF プリンターでの PDF の作成

Gaiiho PDF は、PDF Server がファイルを PDF に変換する仮想プリンターです。PDF Server がインストールされているコンピューターで、他のアプリケーションの [印刷] コマンドを使用して、ドキュメントを PDF に変換できます。

### ドキュメントを PDF に印刷

1. ドキュメント作成アプリケーションでファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。[印刷] ダイアログ ボックスのプリンターメニューから **[Gaiiho PDF]** を選択します。
3. [プリンターのプロパティ] (または [詳細設定]) ボタンをクリックして、[Gaiiho PDF プロパティ] ダイアログ ボックスを開きます。Gaiiho PDF プリンターの設定をカスタマイズします。
4. [印刷] をクリックします。
5. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスで、生成された PDF ファイル名と保存場所を指定します。印刷後 PDF を表示するには、[結果 PDF を表示] チェックボックスをオンにします。必要に応じて、[ドキュメント設定] をクリックして、オープンオプションを設定し、ドキュメント情報を追加します。
6. [保存] をクリックします。

**注意:** 利用可能な印刷オプションは Gaiiho PDF に指定した設定によって異なる場合があります。

### プリンター プロパティの設定

次のいずれかの操作で Gaiiho PDF のプロパティ (印刷設定) ダイアログ ボックスを開きます。

- 任意の印刷可能な Windows アプリケーションの [印刷] ダイアログ ボックスで、プリンターメニューから **Gaiiho PDF** プリンターを選択し、[プリンターのプロパティ] (または [詳細設定]) ボタンをクリックします。
- スタートメニューから [デバイスとプリンター] を開いて、**[Gaiiho PDF]** プリンターを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

[Gaiiho PDF のプロパティ] (または [印刷設定]) ダイアログ ボックスには、**[全般]**、印刷設定を変更する **[PDF 設定]** およびバージョン情報と使用許諾契約が表示される **[バージョン情報]** 3 つのタブがあります。

**注意:** Gaiiho PDF プリンターのプロパティは、サーバー マシン上で印刷コマンドを使用して変換したファイルにのみ適用されます。

**全般** [全般] タブには、PDF ファイルの用紙サイズとレイアウトのコントロール オプションがあります。

**注意:** Microsoft Word などのアプリケーションのページ設定の設定は、Gaiiho PDF プリンターで行われた一部の全版設定より優先されることがあります。

- **用紙のサイズ** [標準サイズ] を選択して、ドロップダウン メニューから用紙のサイズを選択するか、[カスタム サイズ] を選択して用紙のサイズと単位を定義します。

また、[追加] をクリックして、指定した用紙サイズを使用して追加の標準サイズを定義するか、既存の標準サイズを変更することができます。

- **方向** 用紙の方向を縦向きまたは横向きに設定します。
- **解像度** 解像度設定は、文字間隔、改行、イメージの画質に影響します。一般的に、解像度の設定を上げると、プリントした画像の品質は高くなりますが、ファイル サイズが大きくなり、処理にかかる時間が長くなる可能性があります。スクリーン(72)、低(150)、中(300)、高(600)、1200 および 2400 dpi 解像度を指定できます。低解像度は画面の表示に最適です。高品質のハード コピーや文字位置の正確な制御を必要とする場合は、少なくとも 600 dpi の解像度を選択してください。
- **色** 結果 PDF の印刷に使用する配色 (カラー、グレースケール、白黒) を選択します。
- **倍率** ドキュメントのページを拡大または縮小する倍率を指定します。1 から 1000% の間の値を指定できます。
- **結果の PDF を表示 (既定)** このチェックボックスをオンにすると、変換が完了した直後に結果の PDF が自動的に表示されます。

**PDF 設定** [PDF 設定] タブには、互換性、フォントの埋め込み、圧縮、セキュリティ、透かしなどのコントロール オプションがあります。プリセットのコントロールを選択するか、対応する [詳細設定...] ボタンをクリックして、設定を表示または編集できます。詳細については、[変換設定](#) を参照してください。[**Web 表示に最適化**] チェックボックスをオンにすると、Web 上の PDF ドキュメントの表示速度を上げます。既存ファイルに追加、またはオーバーレイする機能を含む保存オプションを定義します。詳細については、[保存設定](#) を参照してください。

[PDF 設定] タブから [ドキュメント設定](#) を表示できます。[ドキュメント設定] パネルでは、PDF ファイルのオプションを設定し、結果 PDF の表示方法 (例: 最初ページとして表示するページ)

を定義します。また、タイトル、サブジェクト、作成者、キーワード、または[カスタムフィールド](#)などのドキュメントに情報を追加して、カテゴリ別に PDF ドキュメントを検索やすくすることもできます。

**バージョン情報** バージョン情報と使用許諾契約を表示します。

## 保存設定

保存セクションには、出力ファイルの保存場所、名前の付け方、および指定された場所に同じ名前のファイルが存在する場合に実行される動作を定義するコントロールがあります。

**保存方法** ドロップダウン メニューから保存方法を選択します。

- **ファイル名を照会 (既定)** 印刷中、[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスが表示され、結果 PDF のファイル名を入力できます。
- **ファイル名を指定** [参照...] をクリックし、表示される [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスでファイルを保存する場所を指定し、[ファイル名] ボックスにファイル名を入力します。[保存] をクリックすると、[PDF パス名] フィールドに完全なファイル ディレクトリおよびファイル名が表示されます。
- **フォルダーを指定(ファイル名を照会)** [PDF パス名] フィールドで指定されたディレクトリに PDF ファイルが作成されます。印刷中にファイル名を入力するプロンプトが表示されます。
- **フォルダーを指定(元のファイル名を利用)** アプリケーションに応じて、Gaiho PDF は自動的に PDF ファイル名を生成し、[PDF パス名] フィールドで指定されたディレクトリにファイルを保存します。
- **ファイルを保存しない(メール送信のみ)** 作成した PDF を保存せずに、新しい電子メールに添付します。ファイルはコンピューターに保存されません。
- **DMS に保存** 作成した PDF ファイルを DMS に保存します。複数の PDF ファイルを作成する場合、それらを 1 つずつ DMS に保存する必要があります。

**PDF パス名** 保存先を指定します。指定したパスはここに表示されます。[**ファイル名を照会**]、[**ファイルを保存しない(メール送信のみ)**]、[**DMS に保存**] 以外の保存方法を選択しない限り、この場所および/または名前にファイルを保存します。

**ファイルが存在する場合** 指定の保存場所に同じ名前のファイルが存在する場合実行される動作を定義します。

- **警告ダイアログを表示** 保存場所に同じ名前のファイルが存在する場合、警告メッセージが表示されます。[既存ファイルと置き換える]、[既存のファイルの前に挿入]、[既存のファイルの後に追加]、[既存のファイルとオーバーレイ]、[ファイル名の末尾に番号を追加] を選択できます。印刷を停止するには、[キャンセル] をクリックします。
- **既存のファイルと置き換える** 既存のファイルを新しく作成した PDF ファイルで置き換えます。
- **ファイル名の後ろにナンバーを追加** 新しい PDF ファイル名には、ターゲット ファイル名の後に連番が付きます。例えば、*Sample.pdf* は、Sample (1)、Sample(2)、Sample(3) などになります。
- **既存ファイルの前に挿入** 新しい PDF ページは既存ファイルの前頭に挿入されます。
- **既存ファイルの後に追加** 新しい PDF ページは既存ファイルの末尾に挿入されます。
- **既存ファイルとオーバーレイ** 新しいページと既存のドキュメントのページがオーバーレイされます。[オプション...] ボタンをクリックして、オーバーレイの実行方法を制御します。オーバーレイのルールおよびその他のオプションを設定できます。

#### オーバーレイのルール

両方の選択ボックスから場所を選択して、新しく作成したページと既存のページの間のオーバーレイを調整します。

#### 新規に作成したページを最前面に配置

元のページを背景に置き、新しく作成したページを前景に配置して、元のページのコンテンツの最前面に表示します。このオプションは、ドキュメントにロゴを配置する場合に便利です。

#### 短いドキュメントの最後のページを繰り返しオーバーレイする

このオプションは、長いドキュメントの各ページにヘッダーとフッター、またはロゴを配置する時に便利です。短いドキュメントの最後のページには、ヘッダー/フッター、またはロゴが含まれている必要があります。

#### 既存ファイルの「ドキュメント設定」を使用

新しく作成されたファイルは、既存のファイルの [\[ドキュメント設定\]](#) を継承します。このオプションが選択されていない場合は、デフォルト値が使用されます。このオプションは、複数の PDF ファイルに一連のドキュメント設定 (共通プロパティ) を適用する場合に便利です。

**電子メールとして送信** PDF ファイルを新しい電子メール メッセージに添付する同時に、指定した場所に保存します。PDF ファイルを保存しない場合は、[保存方法] で **[ファイルを保存しない (メール送信のみ)]** を選択します。

### [名前を付けて保存] ダイアログ ボックス

[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスは、保存方法として **[ファイル名を照合]**、**[ファイル名を指定]** または **[フォルダーを指定(ファイル名を照合)]** を選択した場合に表示されます。PDF フ

ファイルを印刷するときに [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの下部に追加のオプションが表示されます。

[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスで、次の操作を行うことができます。

- 必要に応じて、提供されたフォルダーとファイル名を変更します。
- **[結果 PDF ファイルを表示]** チェックボックスをオンまたはオフにします。
- **[ドキュメント設定]** チェックボックスをオンまたはオフにします。
- **[ドキュメント設定]** チェックボックスをオンにし、**[編集...]** をクリックして、ドキュメント設定を変更します。詳細については、[ドキュメント設定](#)を参照してください。

## • シートごとに複数のページ

ドキュメントの複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。[シートごとに複数のページ] チェックボックスをオンにし、**[編集...]** をクリックします。[シートごとに複数のページ] ダイアログ ボックスで、シートごとのページ数 (2、4、6、9、または 16 ページ) および余白を指定します。

# 付録

## サポートされるファイルの種類

Gaiho PDF Server で PDF に変換できる一般的なファイルの種類:

PDF ファイル (*.pdf)	PCX ファイル (*.pcx)	BMP ファイル (*.bmp)
Photo CD ファイル (*.pcd)	GIF ファイル (*.gif)	Photoshop ファイル (*.psd)
HTML ファイル (*.htm, *.html, *.shtml)	PNG ファイル (*.png)	JPEG ファイル (*.jpeg, *.jpg)
Targa ファイル (*.tga)	JPEG2000 ファイル (*.j2c, *.j2k, *.jp2, *.jpx, *.jpf)	Text ファイル (*.txt)
メタファイル (*.emf, *.wmf)	TIFF ファイル (*.tiff, *.tif)	Microsoft Office ファイル (*.rtf, *.xls, *.ppt, *.doc)
Wireless BMP ファイル (*.wbmp)	Microsoft Office 2007 ファイル (*.xlsx, *.pptx, *.docx)	AutoCAD ファイル (*.dwg)
OpenOffice ファイル (*.odt, *.odp, *.ods, *.odg, *.odf)	Microsoft Project ファイル (*.mpp)	Microsoft Visio ファイル (*.vsd)
WordPerfect ファイル (*.wpd)		

**重要** ファイルを変換するには、変換するファイルを開けるアプリケーションがサーバー システムにインストールされている必要があります。そうでない場合、Gaiho PDF プリンターはファイルを読み取れません。例えば、サーバー システムに Microsoft Word がインストールされていない場合、.doc ファイルを PDF に変換することができません。開くための適切なプログラムがないファイル形式は、サポートされるファイルの種類リストに表示されません。

# お問い合わせ

Gaiiho をご利用いただき、ありがとうございます。ご質問やご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

## ZEON CORPORATION

住所 3F, No 37, Dexing W.Rd, Shilin Dist, Taipei City, Taiwan (R.O.C)

郵便番号 11158

電話番号 +886-2-28339800

FAX +886-2-28339840

公式サイト [www.gaiiho.com](http://www.gaiiho.com)

購入または代理店の申し込み [sales@gaiiho.com](mailto:sales@gaiiho.com)

技術サポート [support@gaiiho.com](mailto:support@gaiiho.com)